オムロン (株) OMR\_CSIO\_JA\_30 3/2024

# C/CV シリーズ上位リンク ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	16
3	通信設定例	17
4	設定項目	71
5	結線図	76
6	使用可能デバイス	196
7	デバイスコードとアドレスコード	200
8	エラーメッセージ	203

#### はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。

システム構成 接続できる接続機器の種類、通信方式につ (3ページ) いて示します。 2 接続機器の選択 🎏 「2 接続機器の選択」(16 ページ) 接続する接続機器に対応するドライバを 選択します。 3 通信設定例 ☞ 「3 通信設定例」(17 ページ) 表示器と接続機器間で通信するための設 定例を示します。 4 通信設定 表示器と接続機器の通信設定を行います。 (3) 「4 設定項目」(71 ページ) 表示器の通信設定はGP-Pro EX、またはオ フラインモードで設定します。 5 結線図 🦃 「5 結線図」(76 ページ) 表示器と接続機器を接続するケーブルや アダプタについて示します。 運転

# 1 システム構成

表示器とオムロン(株)製接続機器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C200H-LK201 <sup>*1</sup> C120-LK201-V1 <sup>*2</sup>	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	С200Н	C200H-LK202 <sup>*1</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
		C120-LK202-V1*2	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
	C200HS	C200H-LK201 <sup>*1</sup> C120-LK201-V1 <sup>*2</sup>	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
SYSMAC C		C200H-LK202*1	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		CPU ユニット上のリ ンク I/F <sup>*3</sup>	RS232C	設定例 3 (23 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 4 (25 ページ)	結線図 4 (88ページ) *4

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C120-LK201-V1*2	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
		C120-LK202-V1 <sup>*2</sup>	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
	C500		RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C500F C1000H	C500-LK201-V1*2	RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
	C2000 C2000H		RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		C500-LK203 <sup>*2</sup>	RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 5 (89 ページ)
SYSMAC C			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 15 (148 ペー ジ)
	C1000HF	C500-LK201-V1*2	RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
			RS232C	設定例 5 (27 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
		C500-LK203 <sup>*2</sup>	RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (30 ページ)	結線図 5 (89 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 6 (30 ページ)	結線図 15 (148 ペー ジ)
	C20H C28H C40H	CPU ユニット上のリ ンク I/F <sup>*3</sup>	RS232C	設定例 7 (33 ページ)	結線図 6 (97 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C20-LK201-V1*2	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C20PF C28PF C40PF	*0	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
	C60PF	C20-LK202-V1*2	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		C120-LK201-V1 <sup>*2</sup>	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C120 C120F	**	RS422/485 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
	0.201	C120-LK202-V1*2	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
	CQM1-CPU11	CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 4 (88ページ) *4
SYSMAC C	CQM1-CPU21 CQM1-CPU41 CQM1-CPU42 CQM1-CPU43 CQM1-CPU44-V1 CQM1-CPU42-V1 CQM1-CPU43-V1 CQM1-CPU44-V1	CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図3 (86ページ)
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 4 (88 ページ) *4
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 4 (88ページ) *4
	CPM1 CPM1A	CPM1-CIF01	RS232C	設定例 10 (39 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
	CPM1A-V1	CPM1-CIF11	RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (41 ページ)	結線図 7 (99 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 11 (41 ページ)	結線図 16 (156 ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図3
	SRM1-C02	CPM1-CIF01		設定例 10 (39 ページ)	(86ページ)
	CPM2A		RS422/485 (4 線式)	設定例 11 (41 ページ)	結線図 7 (99 ページ)
		CPM1-CIF11	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 11 (41 ページ)	結線図 16 (156 ペー ジ)
		CPU ユニット上の通	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
		信ポート	K3232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
	CPM2C	CPM2C-CIF01 上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 12 (43 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
		CPM2C-CIF01 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 13 (45 ページ)	結線図3 (86ページ)
SYSMAC C		CPM2C-CIF11 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 14 (47 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CPM2C-CIF11 上の端	RS422/485 (4 線式)	設定例 15 (49 ページ)	結線図 10 (112 ペー ジ)
		子台	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 15 (49 ページ)	結線図 17 (164 ペー ジ)
	CQM1H-CPU11 CPU ユニット上のペ	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4	
		リフェラルポート		設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
	CQM1H-CPU21			設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図 3 (86 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		CPU ユニット上のペ リフェラルポート	RS232C	設定例 8 (35 ページ)	結線図 9 (111 ペー ジ) *4
		))		設定例 8 (35 ページ)	結線図 8 (108 ペー ジ)
SYSMAC C	CQM1H-CPU51 CQM1H-CPU61	CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 9 (37 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CQM1H-SCB41 上の RS232C ポート	RS232C	設定例 16 (51 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		CQM1H-SCB41 上の	RS422/485 (4 線式)	設定例 17 (53 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)*5
		RS422A/485 ポート	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 17 (53 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ) *5

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図	
		CPU ユニット上の RS232C ポート	RS232C	設定例 18 (55 ページ)	結線図3 (86ページ)	
		C200HW-COM02-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図3 (86ページ)	
		C200HW-COM03-V1	RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)	
		C20011W-CON103-V1	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)	
	C200HE-CPU42 C200HG-CPU63 C200HG-CPU43 C200HX-CPU64 C200HX-CPU44	C200HG-CPU63 C200HG-CPU43 C200HX-CPU64	C200HW-COM04-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
			C200HW-COM05-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
SYSMAC α	C200HG-CPU63-Z C200HG-CPU43-Z	C200HW-COM06-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)	
	C200HX-CPU85-Z C200HX-CPU65-Z C200HX-CPU64-Z C200HX-CPU44-Z		RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)	
	0200011		RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)	
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)	
			RS422 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)	
		C200H-LK202-V1	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)	

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
		C200HW-COM02-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
		C200HW-COM03-V1	RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)
		C20011W-COM03-V1	RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)
	C200HX-CPU34	C200HW-COM04-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
	C200HX-CPU54 C200HX-CPU34-Z	C200HW-COM05-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
	C200HX-CPU54-Z C200HE-CPU32 C200HE-CPU32-Z C200HG-CPU33 C200HG-CPU53-Z C200HG-CPU53-Z	C200HW-COM06-V1	RS232C	設定例 19 (57 ページ)	結線図 3 (86 ページ)
SYSMAC α			RS422 (4 線式)	設定例 20 (59 ページ)	結線図 11 (121 ペー ジ)
OTOWAC C			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 20 (59 ページ)	結線図 18 (176 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
		C200H-LK202-V1	RS422 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
			RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)
		C200H-LK201-V1	RS232C	設定例 1 (17 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
	C200HE-CPU11 C200HE-CPU11-Z	C200H-LK202-V1	RS422 (4 線式)	設定例 2 (20 ページ)	結線図 2 (78 ページ)
	C200HE-CPU11-Z		RS422/485 (4 線式) マルチリンク	設定例 2 (20 ページ)	結線図 14 (140 ペー ジ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	CV500 CV1000 CV2000 CVM1 CVM1D	CV500-LK201	RS232C (通信ポート1 接続)	設定例 21 (61 ページ)	結線図 1 (76 ページ)
			RS232C (通信ポート2 接続)	設定例 22 (63 ページ)	結線図 12 (130 ペー ジ)
SYSMAC CV			RS422/485 (4 線式) (通信ポート2 接続)	設定例 23 (65 ページ)	結線図 13 (132 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式) マルチリンク	設定例 23 (65 ページ)	結線図 19 (188 ペー ジ)
		CPU ユニット上のリ ンク I/F <sup>*6</sup>	RS232C	設定例 24 (67 ページ)	結線図 12 (130 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式)	設定例 25 (69 ページ)	結線図 13 (132 ペー ジ)
			RS422/485(4 線式) マルチリンク	設定例 25 (69 ページ)	結線図 19 (188 ペー ジ)

- \*1 ベース取り付けタイプです。
- \*2 CPU 取り付けタイプです。
- \*3 RS232C ポートに接続します。
- \*4 市販の9ピン-25ピン変換アダプタが必要です。
- \*5 2線/4線切り替えスイッチを4線に設定してください(4線式のみ使用可能)。
- \*6 HOSTLINK ポートに接続してください。

# 重 要

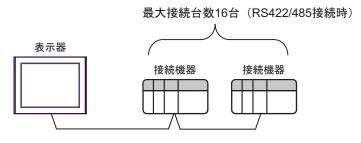
- SYSMAC-α シリーズの場合は以下の点にご注意してください。
- 存在しないデータメモリエリア (DM6656 ~ DM6999) にアクセスを行った場合の動作は保証できません。
- 拡張固定 DM の設定を行わずに DM7000 ~ DM9999 にアクセスを行った場合の動作は保証できません。
- 拡張メモリエリアのバンクが存在しない機種での範囲内指定時の動作は保証できません。

# ■ 接続構成

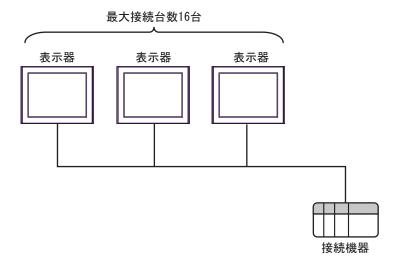
• 1:1接続



• 1:n接続



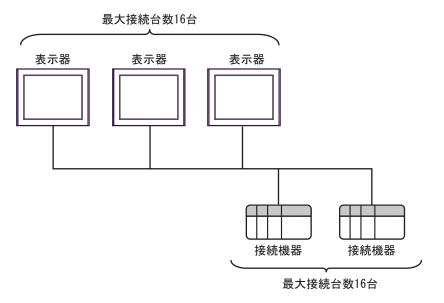
• n:1接続(マルチリンク接続)



MEMO

• 最大接続台数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台までの接続を推奨します。

• n:m接続(マルチリンク接続)



MEMO

• 最大接続台数は16台ですが、接続する表示器を増やすと応答が遅くなるため、4台までの接続を推奨します。

# ■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

#### 使用可能ポート

2.11 = *		使用可能ポート				
シリーズ	RS-232C	RS-422/485(4 線式 )	RS-422/485(2 線式 )			
PS-2000B	COM1*1, COM2, COM3*1, COM4	-	-			
PS-3450A、PS-3451A、 PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2*1*2	COM2*1*2	COM2*1*2			
PS-3650A(T41 機種 )、 PS-3651A(T41 機種 )	COM1*1	-	-			
PS-3650A(T42 機種 )、 PS-3651A(T42 機種 )	COM1*1*2、COM2	COM1*1*2	COM1*1*2			
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 <sup>*1</sup> 、COM2 <sup>*1</sup> 、COM3 <sup>*2</sup> 、COM4	COM3*2	COM3*2			
PS-3711A	COM1*1、COM2*2	COM2*2	COM2*2			
PS4000*3	COM1、COM2	-	-			
PL3000	COM1*1*2, COM2*1, COM3, COM4	COM1*1*2	COM1*1*2			
PE-4000B Atom N270	COM1、COM2	-	-			
PE-4000B Atom N2600	COM1、COM2	COM3*4、COM4*4、 COM5*4、COM6*4	COM3*4、COM4*4、 COM5*4、COM6*4			
PS5000 ( スリムパネルタ イプ Core i3 モデル )*5 *6	COM1、COM2*4	COM2*4	COM2*4			
PS5000 ( スリムパネルタ イプ Atom モデル )*5*6	COM1、COM2*7	COM2*7	COM2*7			
PS5000 ( 耐環境パネルタ イプ ) <sup>*8</sup>	COM1	-	-			
PS5000 ( モジュラータイ プ PFXPU/PFXPP)*5 *6 PS5000 ( モジュラータイ プ PFXPL2B5-6)	COM1*7	COM1*7	COM1*7			
PS5000 ( モジュラータイ プ PFXPL2B1-4)	COM1、COM2*7	COM2*7	COM2*7			
PS6000 (アドバンスド ボックス) PS6000 (スタンダード ボックス)	COM1*9	*10	*10			
PS6000(ベーシックボッ クス)	COM1*9	COM1*9	COM1*9			

<sup>\*1</sup> RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

<sup>\*2</sup> 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

- \*3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C のみ サポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないでくだ さい。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。
- \*4 通信方式を BIOS で設定する必要があります。BIOS の詳細は IPC のマニュアルを参照してください。
- \*5 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールと接続機器を通信させる場合、IPC(RS-232C) または PS5000(RS-422/485) の結線図を使用してください。ただし PFXZPBMPR42P2 をフロー制御なしの RS-422/485(4 線式) として使用する場合は 7.RTS+ と 8.CTS+、6.RTS- と 9.CTS- を接続してください。

接続機器との接続でRS-422/485通信を使用するときには通信速度を落として送信ウェイトを増やすことが必要な場合があります。

\*6 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールで RS-422/485 通信を使用するにはディップス イッチの設定が必要です。サポート専用サイトの「よくある質問」(FAQ) を参照してください。 (http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html)

項目	FAQ ID
PFXZPBMPR42P2のRS422/485切り替え方法	FA263858
PFXZPBMPR42P2の終端抵抗設定	FA263974
PFXZPBMPR44P2のRS422/485切り替え方法	FA264087
PFXZPBMPR44P2の終端抵抗設定	FA264088

- \*7 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。ディップスイッチの詳細は IPC のマニュアルを参照してください。 ボックス Atom には RS-232C、RS-422/485 モードを設定するスイッチがありません。通信方式
  - は BIOS で設定してください。 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、表示器側のコネクタを M12 A コード 8 ピン (ソケット)に読み替えてください。ピン配列は結線図に記載している内容と同じです。M12 A コー
- \*9 本体上の COM1 以外に、オプションインターフェイス上の COM ポートを使用することもできます。
- \*10 拡張スロットにオプションインターフェイスを取り付ける必要があります。

ドのコネクタには PFXZPSCNM122 を使用してください。

#### ディップスイッチの設定 (PL3000/PS3000 シリーズ)

#### RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF*1	予約(常時 OFF)
2	OFF	通信方式:RS-232C
3	OFF	週信刀八 . KS-232€
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω): なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω): なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡: しない

ディップスイッチ	設定値	設定内容
9	OFF	RS(RTS) 自動制御モード:無効
10	OFF	

<sup>\*1</sup> PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする 必要があります。

# RS-422/485(4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	通信方式:RS-422/485
3	ON	地信刀尺
4	OFF	<b>SD(TXD)</b> の出力モード: 常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω): なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω): なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡: しない
9	OFF	DC/DTC) 白動制御エニド・無効
10	OFF	RS(RTS) 自動制御モード:無効

#### RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	通信方式:RS-422/485
3	ON	地信刀尺:KS-422/463
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω): なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω): なし
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:する
8	ON	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡: する
9	ON	RS(RTS) 自動制御モード: 有効
10	ON	NS(NIS) 日 助 即 四 四 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

# 2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。



設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「 $1\sim4$ 」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「オムロン㈱」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「C/CV シリーズ上位リンク」を選択します。「C/CV シリーズ 上位リンク」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。  「1 システム構成」(3ページ)
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
システムエリアを使用 する	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方 式専用エリア)」
	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。
	参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「システム設定 [ 本体設定 ] - [ システムエリア設定 ] の設定ガイド」
	参照 : 保守 / トラブル解決ガイド「本体設定 - システムエリア設定」

# 3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

#### 3.1 設定例 1

# ■ GP-Pro EX の設定

#### ◆ 通信設定

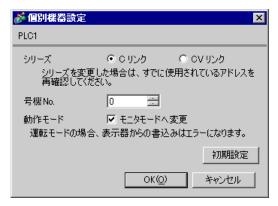
設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



# ■ 接続機器の設定

接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

#### ◆ C200H-LK201 の場合

ロータリースイッチ	設定	設定内容
SW1	0	号機 No.×10
SW2	0	号機 No.×1
SW3	6	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	2	7bit 長、2 ストップビット、偶数

ディップスイッチ (背面)	設定	設定内容
SW1	OFF	未使用
SW2	OFF	未使用
SW3	ON	1:N 手順
SW4	OFF	5V 供給無

CTS 制御は 0V (常時 ON) にしてください。

#### ◆ C120-LK201-V1 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.: 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	+ t+ u
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	广 <b>兴</b> 末度 10.0VI
SW3	ON	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	レベル 1, 2, 3 有効
SW8	ON	

ディップスイッチ 3	設定	設定内容
SW1	ON	CTS 常味 ON
SW2	OFF	CTS 常時 ON
SW3	ON	
SW4	OFF	바까덤뿌
SW5	ON	内部同期
SW6	OFF	
SW7	OFF	+ <i>t</i> + 田
SW8	OFF	未使用

## 3.2 設定例 2

#### ■ GP-Pro EX の設定

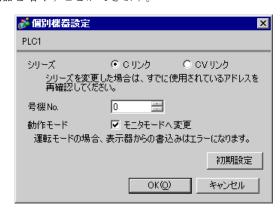
#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ∭ ([設定])をクリックします。



接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

#### ◆ C200H-LK202 の場合

ロータリースイッチ	設定	設定内容
SW1	0	号機 No.×10
SW2	0	号機 No.×1
SW3	6	伝送速度:19.2Kbps
SW4	2	7bit 長、2 ストップビット、偶数

背面のスイッチは下記のように設定してください。

- 1:N 手順 (OFF)
- システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り(ON)]、それ以外は[終端抵抗接続無し(OFF)]にしてください。

#### ◆ C120-LK202-V1 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.: 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	+#-
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	/ ** # 10 0V
SW3	ON	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	レベル 1, 2, 3 有効
SW8	ON	

# • システム構成上、通信接続の末端に位置する場合

ディップスイッチ 3	設定	設定内容
SW1	ON	
SW2	OFF	
SW3	ON	<b>炒料料にナナ・</b> ○1ナフ
SW4	OFF	終端抵抗をつける
SW5	ON	
SW6	OFF	
SW7	OFF	+ / <del>-</del> /- /-
SW8	OFF	未使用

# • それ以外の場合

ディップスイッチ 3	設定	設定内容
SW1	ON	
SW2	OFF	
SW3	OFF	終端抵抗をつけない
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	
SW7	OFF	* # H
SW8	OFF	未使用

## 3.3 設定例 3

#### ■ GP-Pro EX の設定

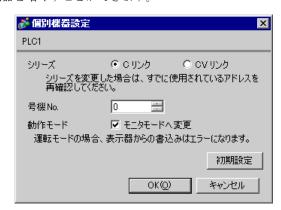
#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ∭ ([設定])をクリックします。



#### ◆ ラダーツールで設定する場合

上位リンクポートの設定は、ラダーツールの [PC システム設定]を開き、[上位リンクポート]にて設定します。ラダーツールの詳細は接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
通信設定	ユーザー設定
通信速度	19200
パラメータ	7、2、E
モード	上位リンク
号機 No.	0 号機
ディレー	0
CS 制御	あり

# ◆ データレジスタに値を設定する場合

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

## 3.4 設定例 4

#### ■ GP-Pro EX の設定

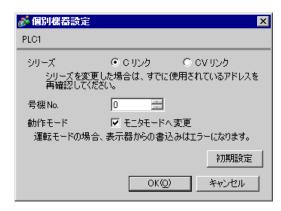
#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



#### ◆ ラダーツールで設定する場合

ペリフェラルポートの設定は、ラダーツールの [PC システム設定]を開き、[ペリフェラルポート]にて設定します。ラダーツールの詳細は接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
通信設定	ユーザー設定
通信速度	19200
パラメータ	7、2、E
モード	上位リンク
号機 No.	0 号機
ディレー	0
CS 制御	あり

#### ◆ データレジスタに値を設定する場合

ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.: 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

## 3.5 設定例 5

#### ■ GP-Pro EX の設定

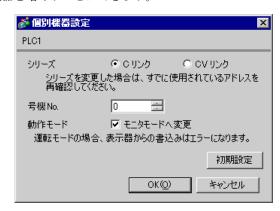
#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

#### ♦ C500-LK201-V1

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.: 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	未使用
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	广 <b>兴</b> 末度 10.0VI
SW3	ON	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	
SW8	ON	レベル 1, 2, 3 有効

モード制御スイッチ (ユニット前面): 上位リンク

入出力ポート (ユニット背面): RS-232C

同期 (ユニット背面): 内部 終端抵抗 (ユニット背面): 無 CTS (ユニット背面): 0V

#### ◆ C500-LK203 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.: 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	71.1 [ 2 7 ] 一个13 ] /四米/
SW7	OFF	7bit 長、2 ストップビット、偶数
SW8	OFF	通常

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	/ ** # 10 0V
SW3	ON	伝送速度:19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	ON	系統 #0
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	レベル 1, 2, 3 有効
SW8	ON	

モード制御スイッチ (ユニット前面): 上位リンク

5V 供給 (ユニット背面): OFF

入出力ポート (ユニット背面): RS-232C

同期 (ユニット背面): 内部 終端抵抗 (ユニット背面): 無 CTS (ユニット背面): 0V

## 3.6 設定例 6

#### ■ GP-Pro EX の設定

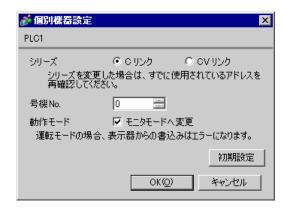
#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



## ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



接続機器に装着した上位リンクユニットを下記のように設定します。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

#### ◆ C500-LK201-V1

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	
SW3	OFF	号機 No.: 0
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	未使用
SW7	OFF	未使用
SW8	ON	運転

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	
SW2	OFF	广 <b>兴</b> 末座,10.0VI
SW3	ON	伝送速度: 19.2Kbps
SW4	OFF	
SW5	OFF	未使用
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	
SW8	ON	レベル 1, 2, 3 有効

モード制御スイッチ (ユニット前面): 上位リンク

入出力ポート (ユニット背面): RS-422

同期 (ユニット背面): 内部

終端抵抗(ユニット背面):システム構成上、通信接続の末端に位置する場合は[有]、それ以外は[

無]に設定してください。 CTS (ユニット背面): 0V

#### ◆ C500-LK203 の場合

ディップスイッチ 1	設定	設定内容
SW1	OFF	号機 No. : 0
SW2	OFF	
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	7bit 長、2 ストップビット、偶数
SW7	OFF	
SW8	OFF	通常

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	伝送速度:19.2Kbps
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	系統 #0
SW6	OFF	1:N手順
SW7	ON	レベル 1, 2, 3 有効
SW8	ON	

モード制御スイッチ (ユニット前面): 上位リンク

5V 供給 (ユニット背面): OFF

入出力ポート (ユニット背面): RS-422

同期 (ユニット背面): 内部

終端抵抗(ユニット背面):システム構成上、通信接続の末端に位置する場合は[有]、それ以外は[

無]に設定してください。 CTS (ユニット背面): 0V

## 3.7 設定例 7

#### ■ GP-Pro EX の設定

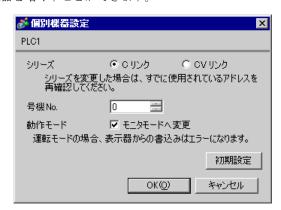
#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ∭ ([設定])をクリックします。



通信は標準設定(初期値)で行ってください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

設定項目	設定値
伝送速度	9600bps
スタートビット	1 ビット
データ長	7 ビット
ストップビット	2 ビット
パリティビット	偶数
号機 No.	0 号機

## 3.8 設定例 8

#### ■ GP-Pro EX の設定

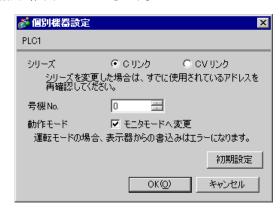
#### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



#### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

CPM1, CPM1H と接続する場合は、SW5 は OFF に設定してください。

CPM2C と接続する場合は、「通信ポート機能スイッチの設定」の SW1 は OFF、SW2 は ON に設定してください。設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.: 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

## 3.9 設定例 9

## ■ GP-Pro EX の設定

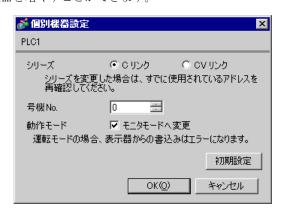
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリック します。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [ ([設定])をクリックします。



ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW 5はOFFに設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

### 3.10 設定例 10

## ■ GP-Pro EX の設定

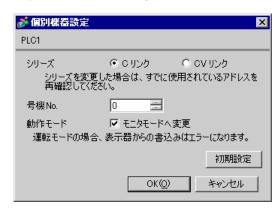
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 変換アダプタ上のモード設定 SW は必ず [HOST] に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

<sup>\*</sup>変換アダプタは CPU 上のペリフェラルポートに接続します。

## 3.11 設定例 11

## ■ GP-Pro EX の設定

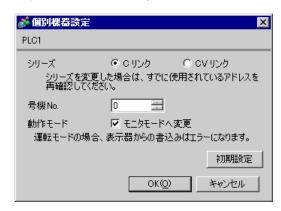
## ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 変換アダプタ上のモード設定 SW は必ず [HOST] に設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

<sup>\*</sup>変換アダプタは CPU 上のペリフェラルポートに接続します。

## 3.12 設定例 12

## ■ GP-Pro EX の設定

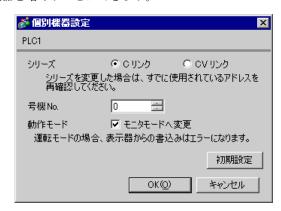
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



CPM2C-CIF01上のペリフェラルポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

CPUユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

\*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

## 3.13 設定例 13

## ■ GP-Pro EX の設定

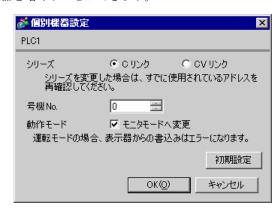
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



CPM2C-CIF01上のRS232Cポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.: 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

CPUユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

\*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

### 3.14 設定例 14

## ■ GP-Pro EX の設定

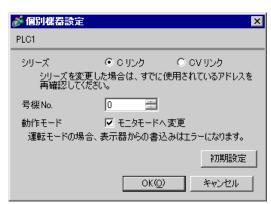
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



CPM2C-CIF11 上の RS232C ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

CPUユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

\*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

### 3.15 設定例 15

## ■ GP-Pro EX の設定

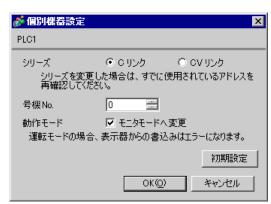
## ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



## ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



CPM2C-CIF11上のRS422ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6650	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6651	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6653	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。 システム構成上通信接続の末端に位置する場合は[終端抵抗接続有り (ON)]、それ以外は[終端抵抗接続無し (OFF)]にしてください。

RS-485 インターフェース切り替えスイッチ

ディップスイッチ 2	設定	設定内容
SW1	OFF	4 位十年
SW2	OFF	4線式通信
SW3	OFF	
SW4	ON	CPU ユニットの RS 制御機能

CPUユニット上の通信ポート機能設定スイッチ

ディップスイッチ	設定
SW1	OFF
SW2	ON

\*変換アダプタは CPU 上の通信ポートに接続します。

### 3.16 設定例 16

## ■ GP-Pro EX の設定

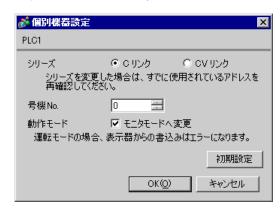
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



CQM1H - SCB41B 上の RS232C を使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

ユニット表面のスイッチ設定

スイッチ	設定
TERM	OFF
FIRE	任意

### 3.17 設定例 17

## ■ GP-Pro EX の設定

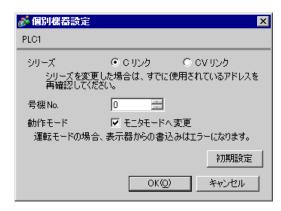
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



## ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



CQM1H - SCB41B 上の RS422/485 ポートを使用する場合 ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6550	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6551	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6553	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.: 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

ユニット表面のスイッチ設定

スイッチ	設定
TERM	ON
FIRE	4

システム構成上通信接続の末端に位置する場合は [終端抵抗接続有り (ON)]、それ以外は [終端抵抗接続無し (OFF)] にしてください。

### 3.18 設定例 18

## ■ GP-Pro EX の設定

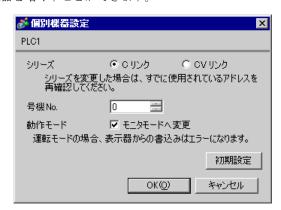
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ∭ ([設定])をクリックします。



ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6645	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6646	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6648	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

### 3.19 設定例 19

## ■ GP-Pro EX の設定

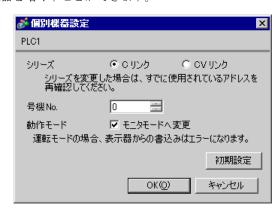
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [ ([設定])をクリックします。



ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。 SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

## ◆ポートA使用時

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No.: 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

### ◆ポートB使用時

レジスタ	設定	設定内容
DM6550	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6551	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6553	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

## 3.20 設定例 20

## ■ GP-Pro EX の設定

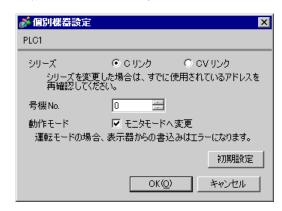
## ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



ラダーツールなどを用いて下記のように値を設定してください。

SW5 は OFF に設定してください。

設定の詳細については接続機器のマニュアルをご参照ください。

レジスタ	設定	設定内容
DM6555	0001(HEX)	モード指定:上位リンク
DM6556	0304(HEX)	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ
DM6558	0000(HEX)	上位リンク、号機 No. : 0 号機

各レジスタにデータを書き込み、接続機器を一旦リセットしてください。

コミュニケーションボードのディップスイッチを下記のように設定してください。

- SW1: ON
- SW2:システム構成上通信接続の末端に位置する場合は、「終端抵抗有り (ON)」、それ以外は、「終端抵抗無し (OFF)」にしてください。

## 3.21 設定例 21

## ■ GP-Pro EX の設定

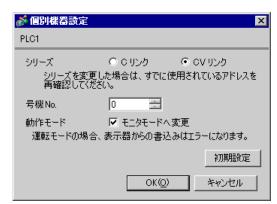
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



## ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



ポート1 (RS232C) を使用する場合

ロータリースイッチ *1	設定	設定内容
SW3	0	H # NO . O
SW4	0	号機 NO : 0

<sup>\*1</sup> SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	下	供給しない

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	下	終端抵抗:無

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ <sup>*1</sup>
SW2	ON	ポート1: CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

<sup>\*1</sup> ラダーソフト等で伝送速度を19200に変更してください。

## 3.22 設定例 22

## ■ GP-Pro EX の設定

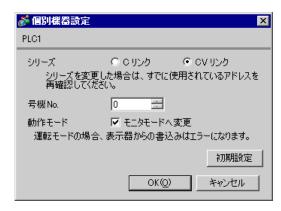
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



## ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



ポート2 (RS232C) を使用する場合

ロータリースイッチ *1	設定	設定内容
SW3	0	F 14% NO . 0
SW4	0	号機 NO : 0

<sup>\*1</sup> SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	下	供給しない

	設定	設定内容
通信路切替 SW	下	RS232C

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	下	終端抵抗:無

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ <sup>*1</sup>
SW2	ON	ポート1: CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

<sup>\*1</sup> ラダーソフト等で伝送速度を19200に変更してください。

## 3.23 設定例 23

## ■ GP-Pro EX の設定

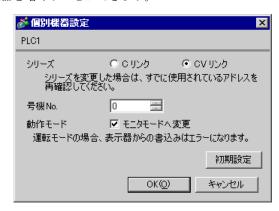
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。



ポート2 (RS422) を使用する場合

ロータリースイッチ *1	設定	設定内容
SW3	0	F + NO . O
SW4	0	号機 NO : 0

<sup>\*1</sup> SW1、SW2の設定は表示器の通信には関係ありません。

	設定	設定内容
5V 出力設定 SW	下	供給しない

	設定	設定内容
通信路切替 SW	上	RS422

	設定	設定内容
終端抵抗 SW	上	終端抵抗:有* <sup>1</sup>

<sup>\*1</sup> 終端抵抗切り替えスイッチはシステムの終端に位置するユニットだけONにして下さい。

ディップスイッチ	設定	設定内容
SW1	OFF	9600bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ <sup>*1</sup>
SW2	ON	ポート1: CTS 信号を常時 ON
SW3	ON	ポート 2 : CTS 信号を常時 ON
SW4	OFF	予備:常時 OFF
SW5	OFF	折返し通信テスト:通常動作を行います
SW6	OFF	未使用

<sup>\*1</sup> ラダーソフト等で伝送速度を19200に変更してください。

## 3.24 設定例 24

## ■ GP-Pro EX の設定

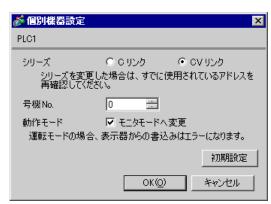
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ■ ([設定]) をクリックします。



RS232C ポートと接続する場合

	設定	設定内容
通信設定切り替え SW	上	RS232C の通信方式

ディップスイッチ <sup>*1</sup>	設定	設定内容
SW4	OFF	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ、号 機 No. : 0
SW6	OFF	終端抵抗:無

<sup>\*1</sup> その他のディップ SW の設定は GP との通信には必要ありません。

## 3.25 設定例 25

## ■ GP-Pro EX の設定

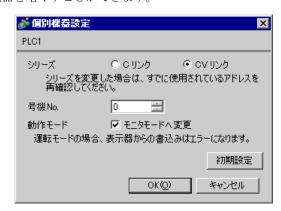
### ◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



### ◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [ ([設定])をクリックします。



RS422 ポートと接続する場合

	設定	設定内容
通信設定切り替え SW	下	RS422 の通信方式

ディップスイッチ <sup>*1</sup>	設定	設定内容
SW4	OFF	19200bps、7bit 長、2 ストップ bit、偶数パリティ、号 機 No. : 0
SW6	ON	終端抵抗:有 <sup>*2</sup>

<sup>\*1</sup> その他のディップ SW の設定は GP との通信には必要ありません。

<sup>\*2</sup> 終端抵抗切り替えスイッチはシステムの終端に位置するユニットだけONにして下さい。

# 4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

☞ 「3 通信設定例」(17ページ)

## 4.1 GP-Pro EX での設定項目

## ■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。



設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 $(s)$ を「 $1\sim127$ 」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「 $0\sim$ 255」で入力します。

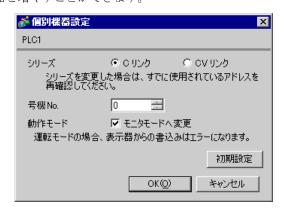
次のページに続きます。

設定項目	設定内容
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 $(ms)$ を $\lceil 0 \sim 255  floor$ で入力します。
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要があります。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

## ■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の [[(設定])をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



設定項目	設定内容
シリーズ名	接続する接続機器のモデルを選択します。
号機 No.	接続機器の号機番号を設定します。
動作モード	モニタモードへの変更の有効/無効を設定します。

重要

• 接続機器が運転モードの場合、表示器からの書込みを受付けません。「動作モード」を有効にすると、起動時に接続機器をモニタモードへと変更し、書き込みできるようにします。

## 4.2 オフラインでの設定項目

МЕМО

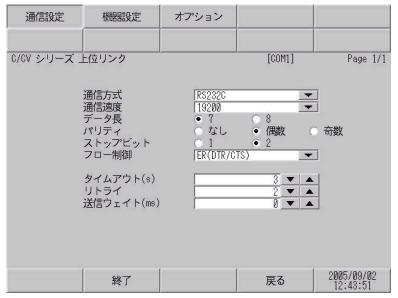
• オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してく ださい。

#### 参照: 保守/トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

• オフラインモードは使用する表示器によって1画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

## ■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[通信設定]をタッチします。



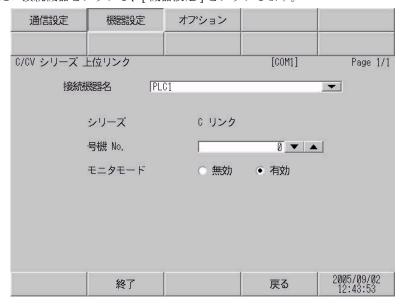
設定項目	設定内容
	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェイスが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保 証できません。シリアルインターフェイスの仕様については表示器のマニュアル を参照してください。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 $(s)$ を「 $1\sim127$ 」で入力します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「 $0\sim$ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 $(ms)$ を $\lceil 0 \sim 255  floor$ で入力します。

## ■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。



設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ名	接続する接続機器のモデルを選択します。
号機 No.	接続機器の号機番号を設定します。
強制モニタモード	モニタモードへの変更の有効/無効を設定します。

## ■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
C/CV シリーズ _	上位リンク RI / VCC RS232Cの場合 かVCC(5V電)	・ RI ・ S番ピンをRI(万 原供給)にするかを L型RS2320アイソリ	入力)にする 選択できま	Page 1/1
		使用する場合は、V		2005/09/02 12:43:55

設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要があります。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

МЕМО

• GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、LT-4\*01TM および LT-Rear Module の場合、オフラインモードに [ オプション ] の設定はありません。

以下に示す結線図とオムロン (株) が推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

#### 結線図1

表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000*1 (COM1) SP5000*2 (COM1/2)	1A	(株)デジタル製 RS232C ケーブル CA3-CBL232/5M-01	
SP-5000 - (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	1B	自作ケーブル	ケーブル長 :15m 以内
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	1C	自作ケーブル	ケーブル長 :15m 以内

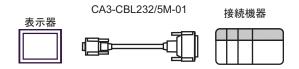
<sup>\*1</sup> GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

<sup>\*2</sup> SP-5B00 を除く

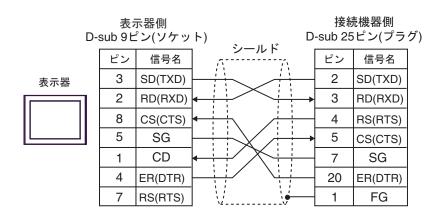
<sup>\*3</sup> RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

 $<sup>^{\</sup>textcircled{G}}$  ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

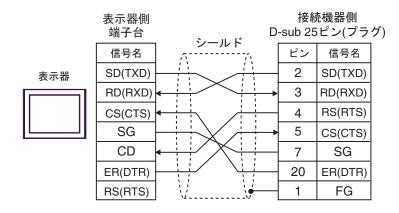
1A)



1B)



1C)



表示器		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 <sup>*2</sup> (COM2) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup>	2A 2B	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
GP3000*4 (COM2)	2C	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
	2D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	2E	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000*7 (COM2)	2F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ** + 自作ケーブル	
ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	2B	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い
PE-4000B*10 PS5000*10 PS6000 (オプションインターフェイス)*10	2G	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

  © ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

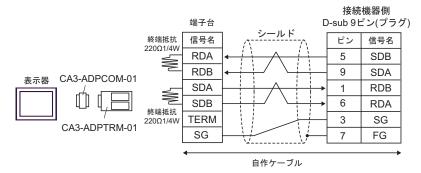
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く

- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略してください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、2A の結線図を参照してください。
- \*10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

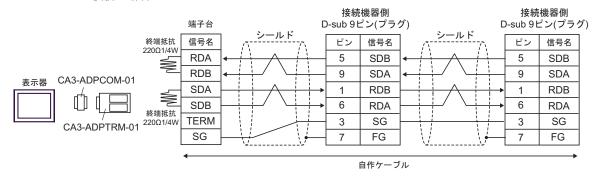
⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

2A)

1:1接続の場合



1:n接続の場合

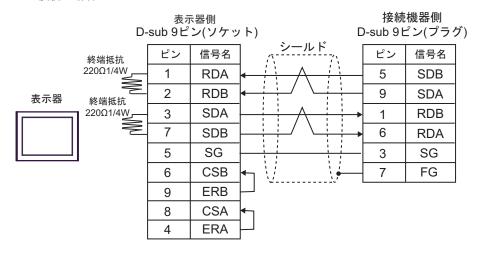


MEMO

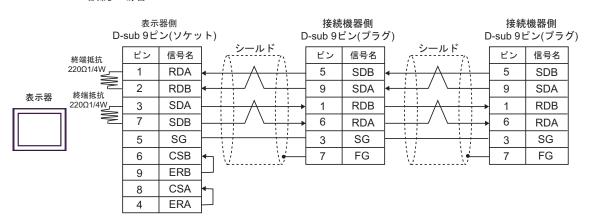
• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗を挿入してください。

2B)

1:1接続の場合



1:n接続の場合

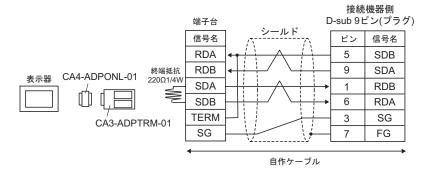


MEMO

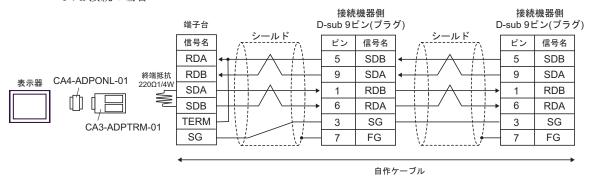
• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗を挿入してください。

2C)

1:1接続の場合

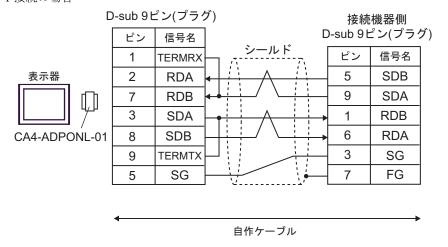


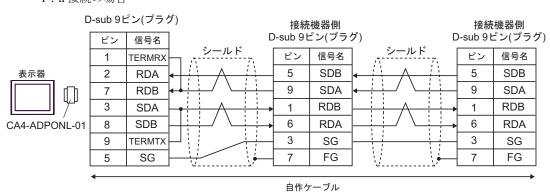
1:n接続の場合



2D)

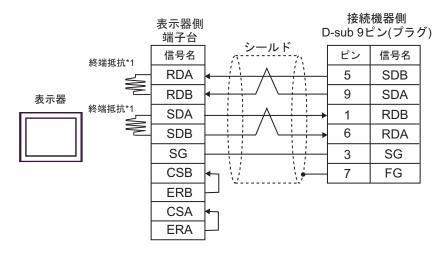
## 1:1接続の場合



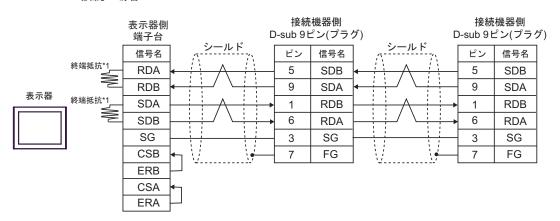


2E)

1:1接続の場合



• 1:n接続の場合

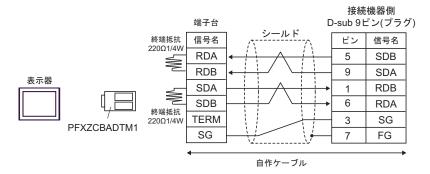


\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

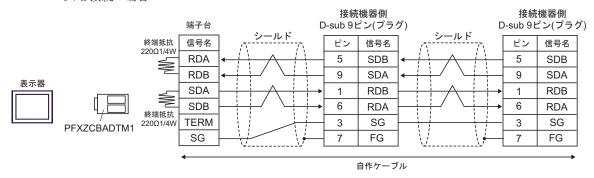
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

2F)

1:1接続の場合

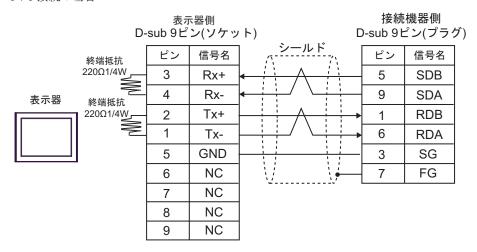


1:n接続の場合

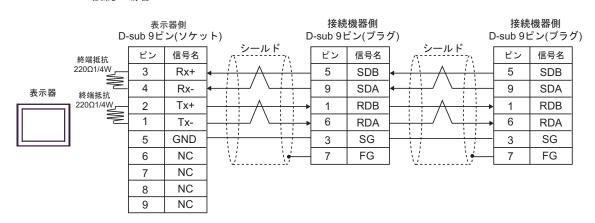


2G)

1:1接続の場合



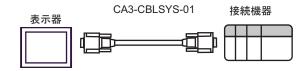
1:n接続の場合



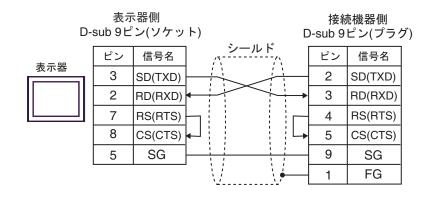
表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000*1 (COM1)	3A	(株)デジタル製オムロン SYSMAC リンクケーブル CA3-CBLSYS-01	
SP5000*2 (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	3B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以 内にしてください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	3C	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以 内にしてください。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	3D	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	ケーブル長は 5m 以 内にしてください。

- \*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種
- \*2 SP-5B00 を除く
- \*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
  - ⑤ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

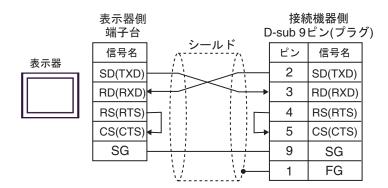
3A)



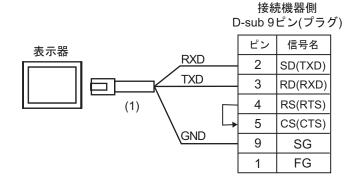
3B)



3C)



3D)



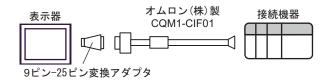
番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000*1 (COM1) SP5000*2 (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	4A	オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01	市販の 9 ピン -25 ピン 変換アダプタが必要で す。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	4B	自作ケーブル + オムロン (株)製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01	

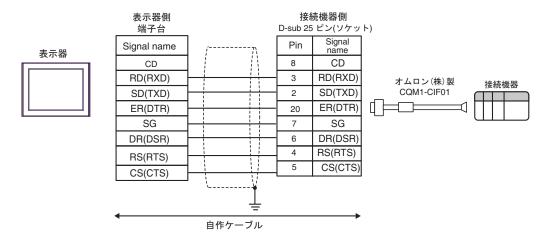
- \*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種
- \*2 SP-5B00 を除く
- \*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

4A)



4B)



表示器		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 <sup>*2</sup> (COM2) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup>	5A 5B	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000*4 (COM2)	5C	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ         CA4-ADPONL-01         +         (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ         CA3-ADPTRM-01         +         自作ケーブル</li> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
	5D	(休)テンタル製オンラインアタフタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	5E	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス)(COM1/2)	5F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	5B	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
PE-4000B*10 PS5000*10 PS6000 (オプション インターフェイス)*10	5G	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式 ) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

『 ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

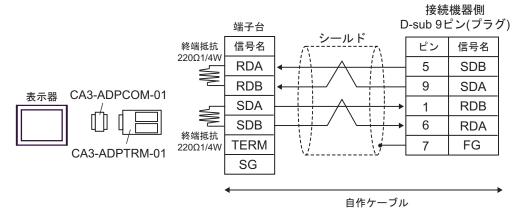
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く

- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略してください。
- \*9 RS-422端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)を使用する場合、5A の結線図を参照してください。
- \*10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

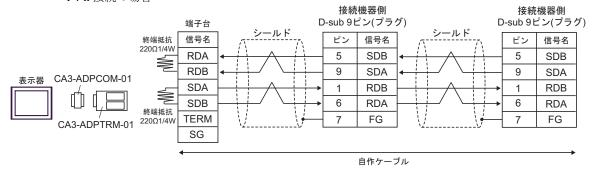
⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

5A)

1:1接続の場合



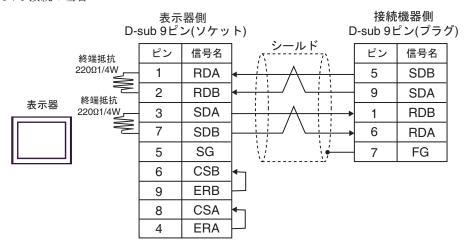
• 1:n接続の場合



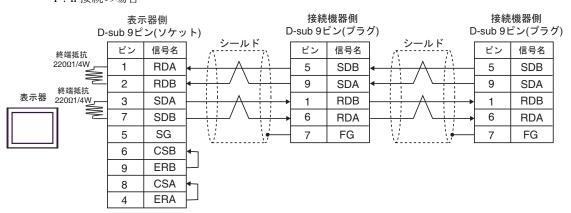
**MEMO** 

• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。 5B)

1:1接続の場合



1:n接続の場合

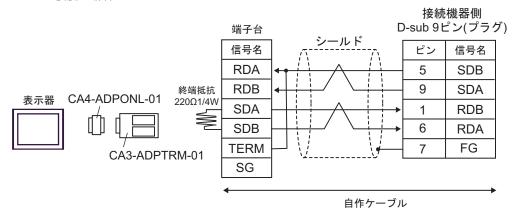


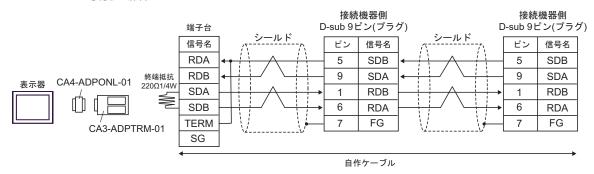
**MEMO** 

• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗を挿入してください。

5C)

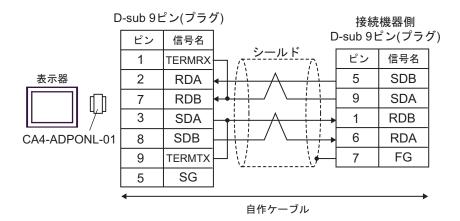
1:1接続の場合

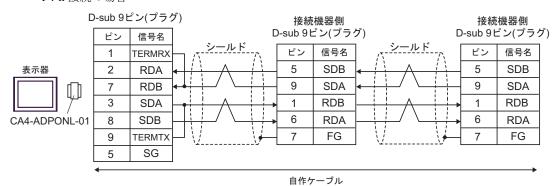




#### 5D)

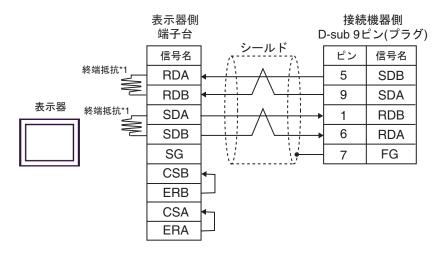
### 1:1接続の場合



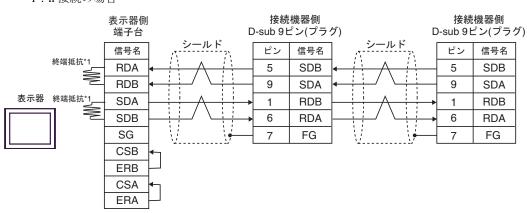


5E)

1:1接続の場合



1:n接続の場合

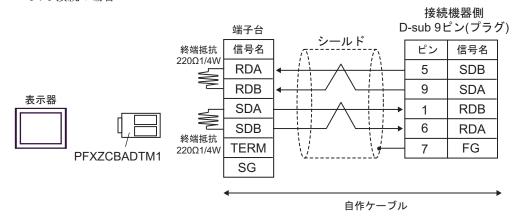


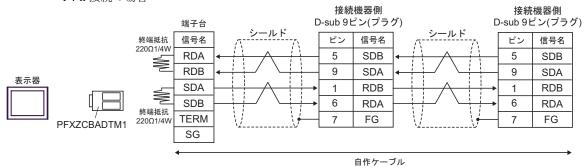
\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容	
1	OFF	
2	ON	
3	OFF	
4	ON	

#### 5F)

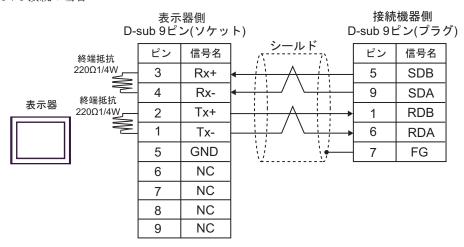
1:1接続の場合



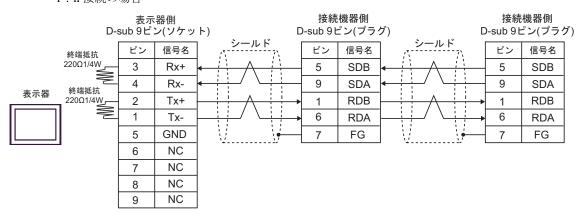


5G)

1:1接続の場合



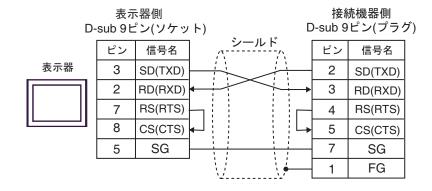
1:n接続の場合



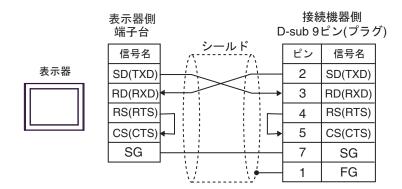
表示器	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000*1 (COM1) SP5000*2 (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	6A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	6B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	6C	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブ ル (5m) PFXZLMCBRJR21	ケーブル長は 5m 以内にしてく ださい。

- \*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種
- \*2 SP-5B00 を除く
- \*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
  - $\bigcirc$  IPC の COM ポートについて (13 ページ)

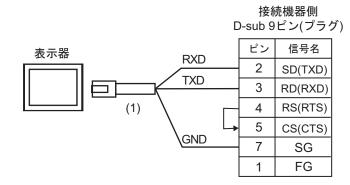
6A)



6B)



6C)



番号	名称	備考
(1)	(株 ) デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

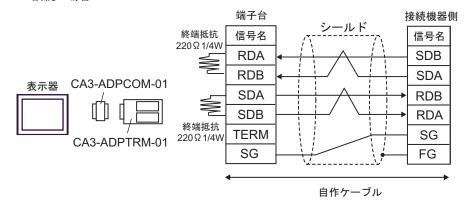
表示器		ケーブル	備考	
GP3000*1 (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	7A 7B	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> <li>(株)デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてください。	
	7C	自作ケーブル		
GP3000*4 (COM2)	7D 7E	<ul> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ         CA4-ADPONL-01         +         (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ         CA3-ADPTRM-01         +         自作ケーブル     </li> <li>(株)デジタル製オンラインアダプタ         CA4-ADPONL-01         +         自作ケーブル     </li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてください。	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	7F	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてください。	
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス)(COM1/2)	7G	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル		
	7B	(株)デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01	ケーブル長は 500m 以内にしてください。	
	7C	自作ケーブル		
PE-4000B*10 PS5000*10 PS6000 (オプションインターフェイス)*10	7H	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてください。	

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000
- GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種 \*4
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く

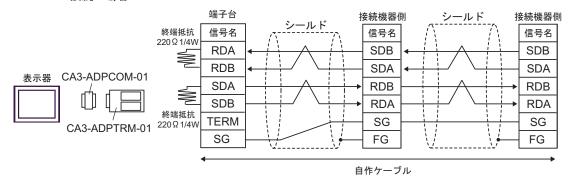
- \*7 ST-6200 を除く
- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略してください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、7A の結線図を参照してください。
- \*10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
  - ⑤ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

#### 7A)

1:1接続の場合



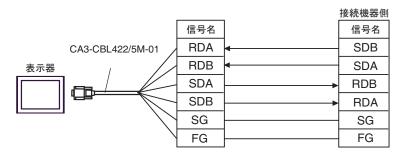
• 1:n接続の場合

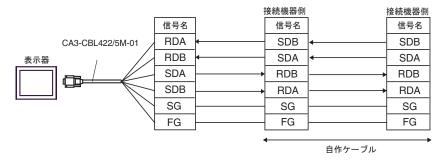


MEMO

• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。 7B)

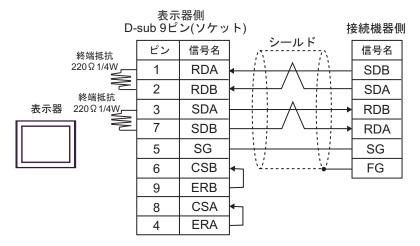
## 1:1接続の場合



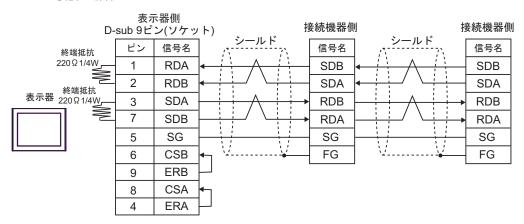


7C)

1:1接続の場合



• 1:n接続の場合

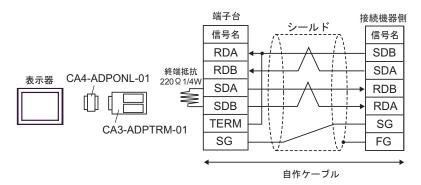


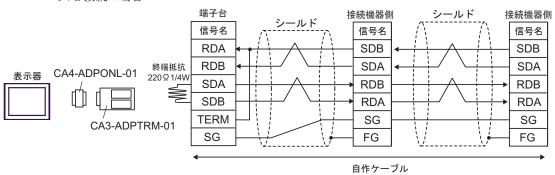
MEMO

• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

7D)

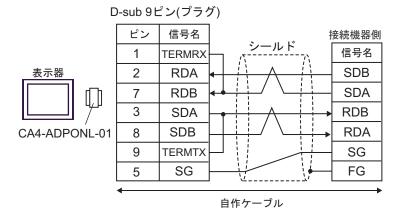
1:1接続の場合

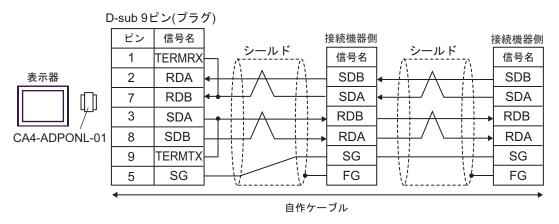




7E)

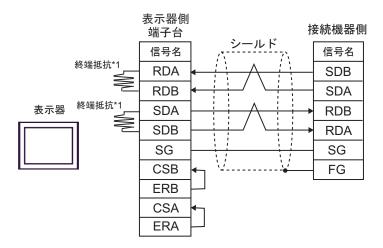
## 1:1接続の場合



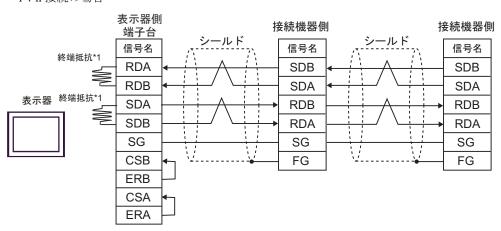


7F)

1:1接続の場合



• 1:n接続の場合

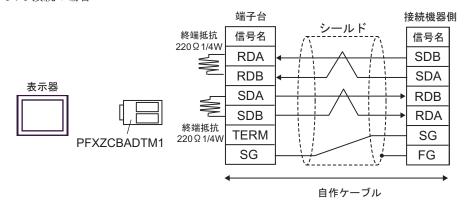


\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

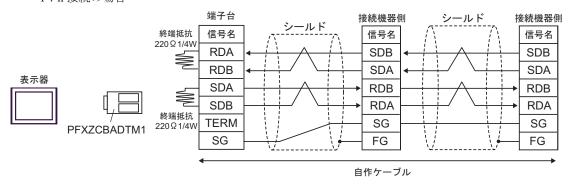
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

7G)

1:1接続の場合

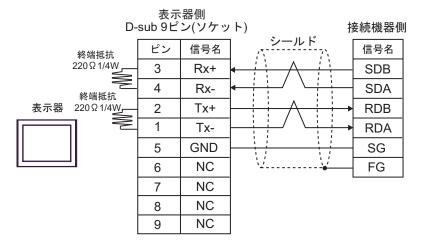


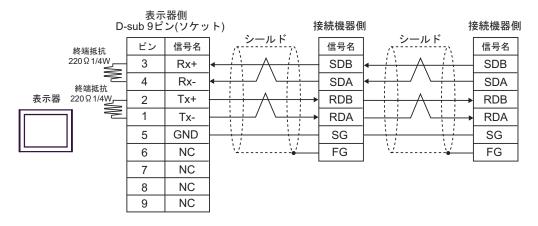
1:n接続の場合



7H)

#### 1:1接続の場合





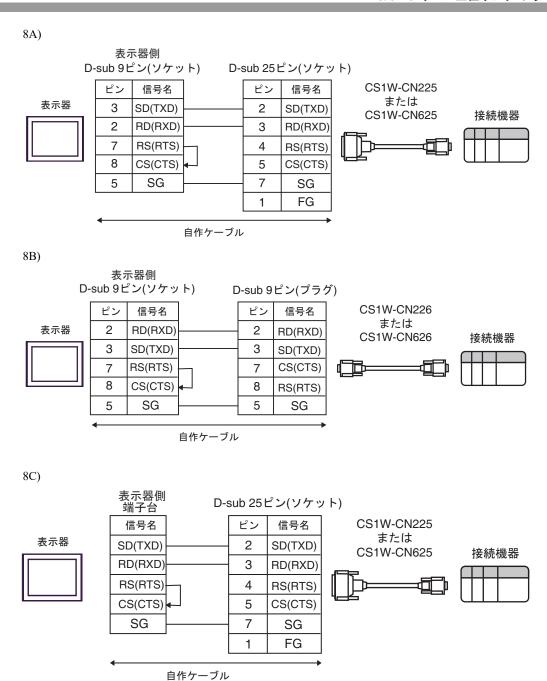
表示器	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000*1 (COM1) SP5000*2 (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	8A	自作ケーブル + オムロン (株) 製 CS1W-CN225(2m) または CS1W-CN625(6m)	
	8B	自作ケーブル + オムロン (株)製 CS1W-CN226(2m)またはCS1W-CN626(6m)	ケーブル長は 15m 以 内にしてください。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	8C	自作ケーブル + オムロン (株)製 CS1W-CN225(2m)またはCS1W-CN625(6m)	ケーブル長は 15m 以
	8D	自作ケーブル + オムロン (株)製 CS1W-CN226(2m)またはCS1W-CN626(6m)	内にしてください。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	8E	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21 + オムロン (株) 製 CS1W-CN225(2m) または CS1W-CN625(6m)	ケーブル長は 11m 以
	8F	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21 + オムロン (株) 製 CS1W-CN226(2m) または CS1W-CN626(6m)	内にしてください。

<sup>\*1</sup> GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

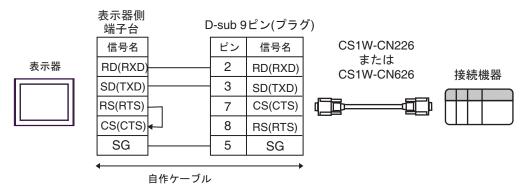
<sup>\*2</sup> SP-5B00 を除く

<sup>\*3</sup> RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

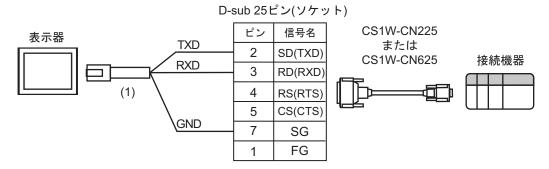
<sup>■</sup> IPC の COM ポートについて (13 ページ)



8D)

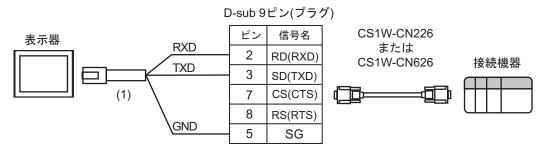


8E)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

8F)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

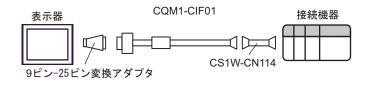
# 結線図9

表示器		ケーブル	備考
GP3000 (COM1) GP4000*1 (COM1) SP5000*2 (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	9A	オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01 + オムロン (株) 製コネクタ変換ケーブル CS1W-CN114	市販の9ピン-25ピン変 換アダプタが必要です。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	9B	自作ケーブル + オムロン (株) 製アイソレーションケーブル CQM1-CIF01 + オムロン (株) 製コネクタ変換ケーブル CS1W-CN114	

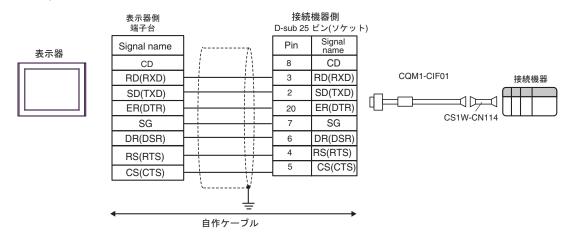
- \*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種
- \*2 SP-5B00 を除く
- \*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

IPC の COM ポートについて (13 ページ)

9A)



9B)



# 結線図 10

表示器	ケーブル		備考
GP3000*1 (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	10A 10B	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> <li>(株)デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000*4 (COM2)	10D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル  (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	10F	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1)	10G 10B	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル  (株) デジタル製 RS-422 ケーブル	ケーブル長は <b>500m</b> 以内にしてくださ
STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	10C	CA3-CBL422/5M-01 自作ケーブル	ν' <sub>0</sub>
PE-4000B*10 PS5000*10 PS6000 (オプションインターフェイス)*10	10H	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)
  - **IPC の COM ポートについて (13 ページ)**
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種

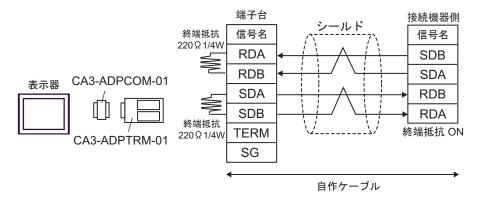
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く
- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、10A の結線図を参照してください。
- \*10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
  - ⑤ IPC の COM ポートについて (13ページ)

⚠注意

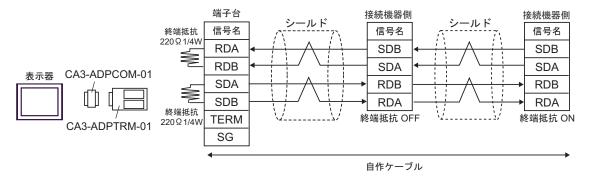
• 接続機器を接続する場合、オムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 あるいは 端子台を使用してください。

10A)

1:1接続の場合



1:n接続の場合

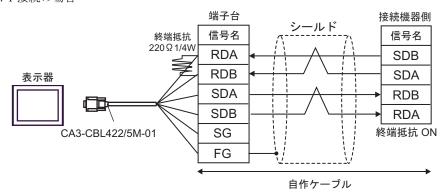


MEMO

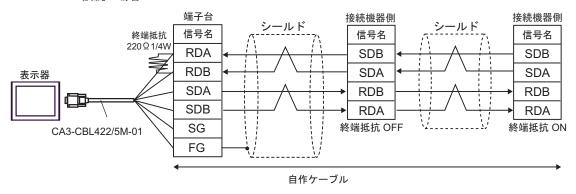
• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗を挿入してください。

10B)

# 1:1接続の場合

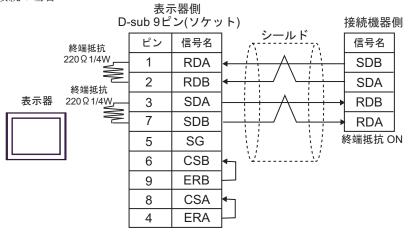


## • 1:n接続の場合

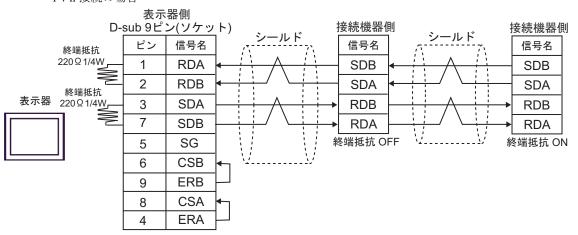


10C)

1:1接続の場合



• 1:n接続の場合

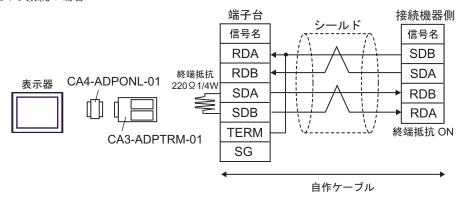


MEMO

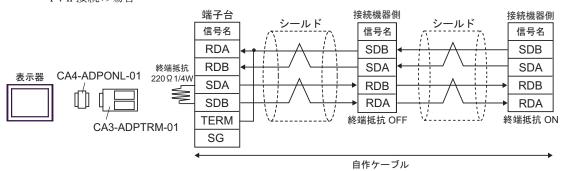
• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗を挿入してください。

## 10D)

1:1接続の場合

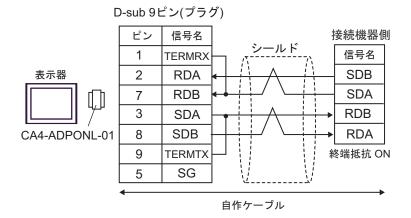


• 1:n接続の場合

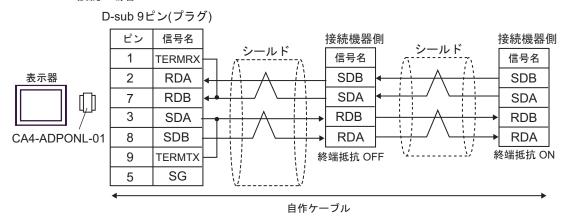


# 10E)

# 1:1接続の場合

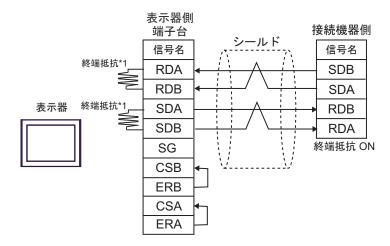


## • 1:n接続の場合

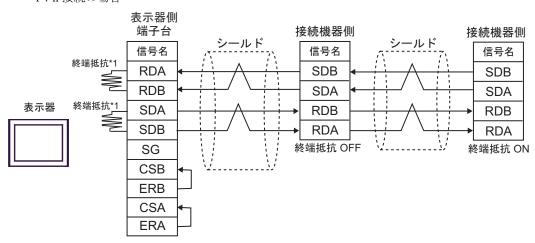


10F)

• 1:1接続の場合



• 1:n接続の場合

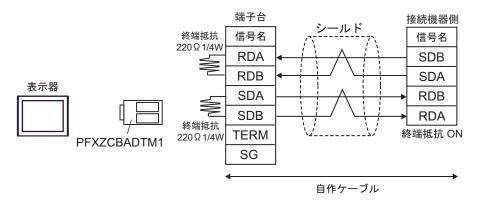


\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

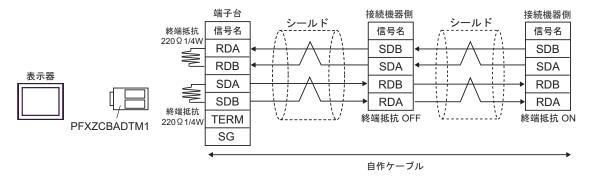
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

## 10G)

1:1接続の場合

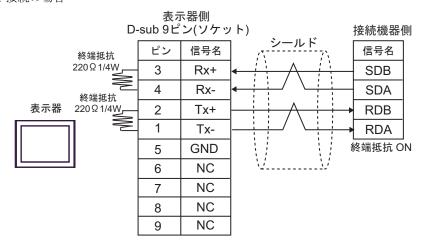


• 1:n接続の場合

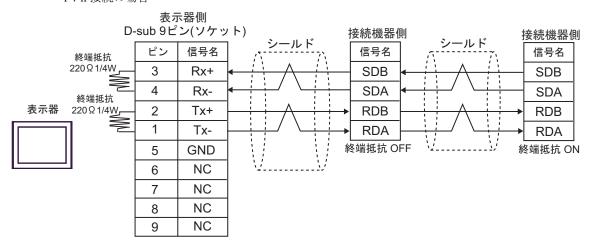


## 10H)

1:1接続の場合



1:n接続の場合



# 結線図 11

表示器	ケーブル		備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 <sup>*2</sup> (COM2) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup>	11A 11B 11C	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> <li>(株)デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000*4 (COM2)	11D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル  (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	11F	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	11G	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	11B	(株)デジタル製 RS422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
	11C	自作ケーブル	<b>v</b> o
PE-4000B*10 PS5000*10 PS6000 (オプション インターフェイス)*10	11H	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式 ) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く )

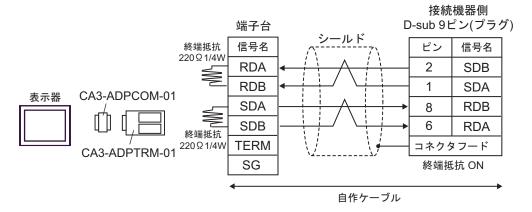
『 ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く

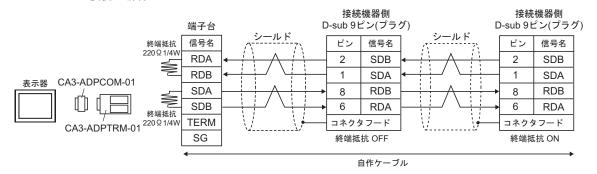
- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、11A の結線図を参照してください。
- \*10 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
  - ⑤ IPC の COM ポートについて (13ページ)
- \* 接続機器を接続する場合、オムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 あるいは端子台を使用 してください。

#### 11A)

1:1接続の場合



1:n接続の場合

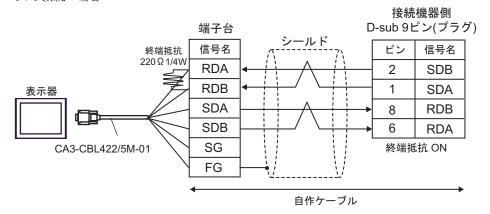


MEMO

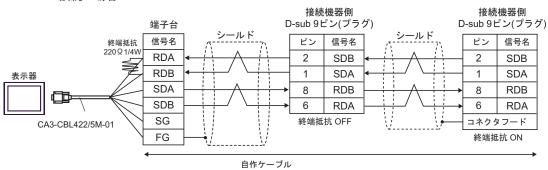
・ 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗を挿入してください。

### 11B)

## 1:1接続の場合

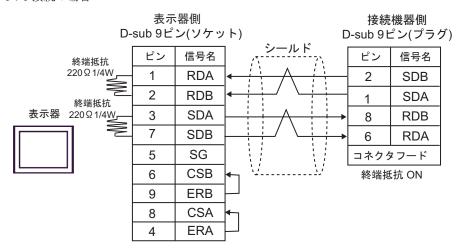


1:n接続の場合

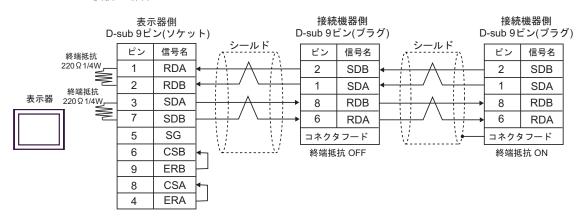


11C)

1:1接続の場合



1:n接続の場合

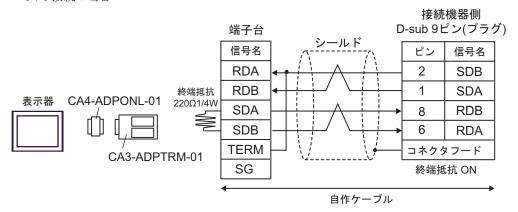


MEMO

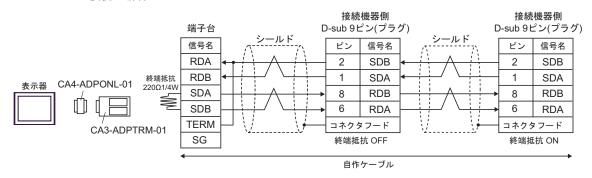
• 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。

11D)

1:1接続の場合

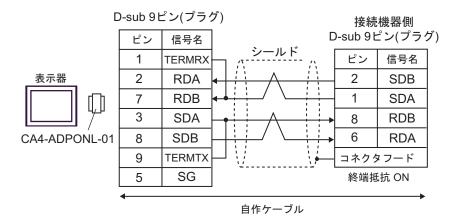


1:n接続の場合

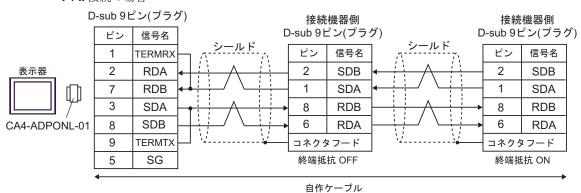


### 11E)

#### 1:1接続の場合

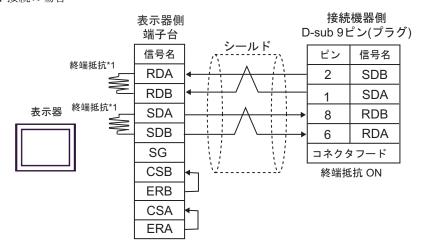


## 1:n接続の場合

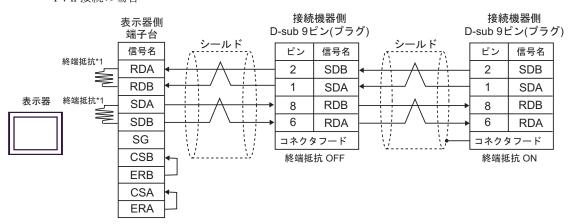


11F)

1:1接続の場合



• 1:n接続の場合

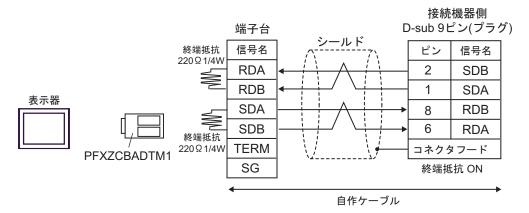


\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

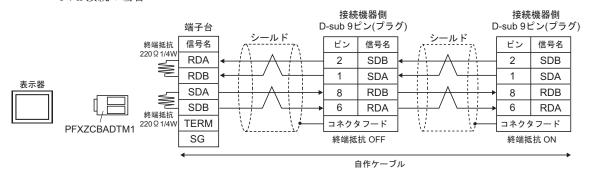
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

## 11G)

1:1接続の場合

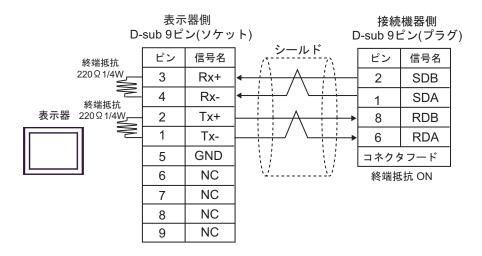


• 1:n接続の場合

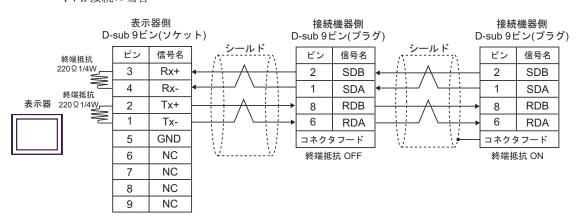


#### 11H)

1:1接続の場合



1:n接続の場合



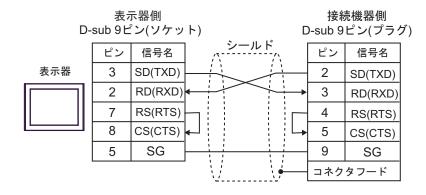
結線図 12

表示器		ケーブル 備考	
GP3000 (COM1) GP4000*1 (COM1) SP5000*2 (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC*3 PC/AT	12A	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	12B	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にしてく ださい。
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	12C	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブ ル (5m) PFXZLMCBRJR21	ケーブル長は 5m 以内にしてく ださい。

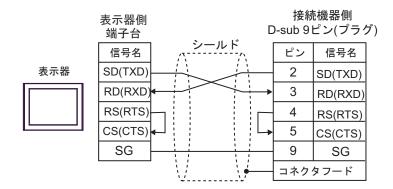
- \*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種
- \*2 SP-5B00 を除く
- \*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。

⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

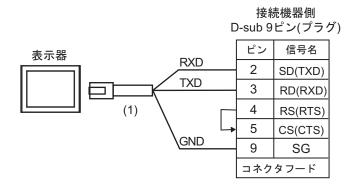
12A)



12B)



12C)



番号	名称	備考
(1)	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR21	

# 結線図 13

表示器		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000 <sup>*2</sup> (COM2) LT3000 (COM1) IPC <sup>*3</sup>	13A	<ul> <li>(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP3000*4 (COM2)	13C	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
	13D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	13E	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000*7 (COM2)	13F	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ** + 自作ケーブル	
ST-6200 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	13B	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。
PE-4000B <sup>*10</sup> PS5000 <sup>*10</sup> PS6000 (オプションイ ンターフェイス) <sup>*10</sup>	13G	自作ケーブル	ケーブル長は 500m 以内にしてくださ い。

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

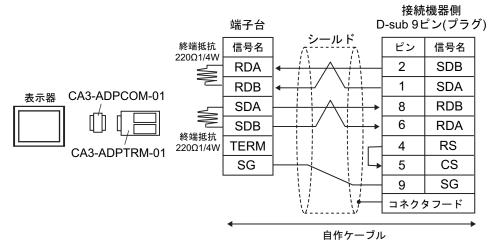
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く

- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略してください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、13A の結線図を参照してください。
- \*10 RS-422/485(4線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。

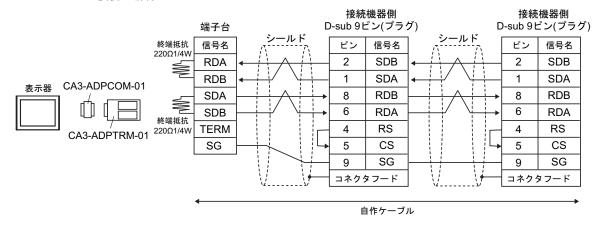
⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

#### 13A)

1:1接続の場合



• 1:n接続の場合

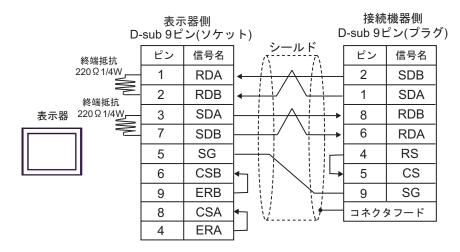


MEMO

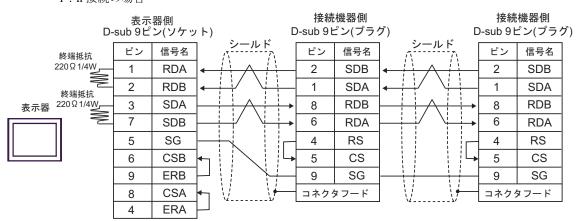
- 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。
- 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。

13B)

#### 1:1接続の場合



1:n接続の場合

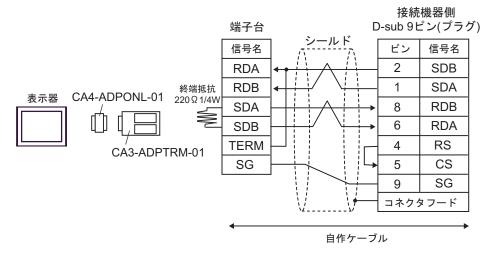


MEMO

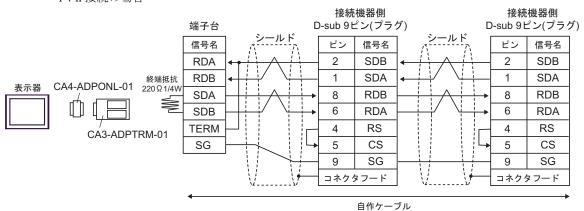
- 使用する表示器が IPC の場合、IPC のディップスイッチ 5、6 を ON にして終端抵抗 を挿入してください。
- 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。

#### 13C)

1:1接続の場合



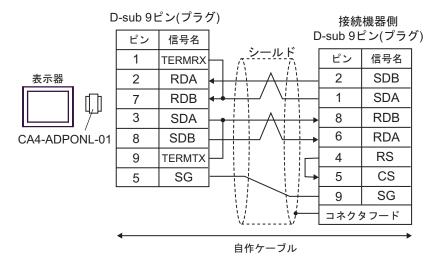
• 1:n接続の場合



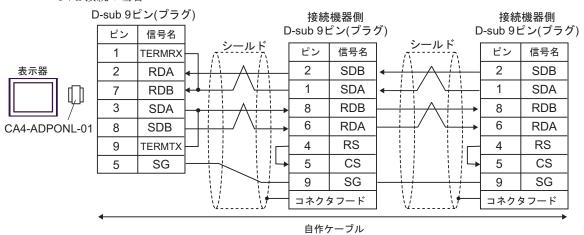
MEMO

#### 13D)

#### 1:1接続の場合



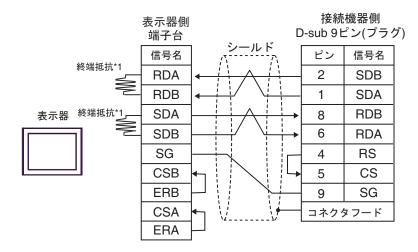
1:n接続の場合



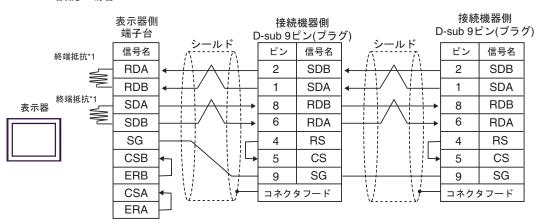
MEMO

13E)

1:1接続の場合



• 1:n接続の場合



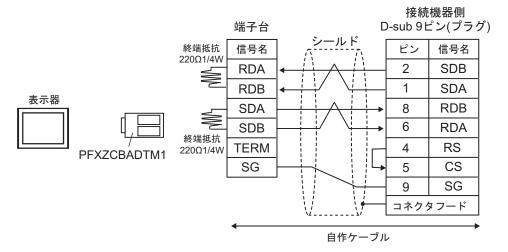
\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを 以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

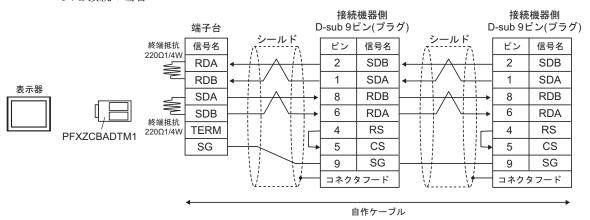
**MEMO** 

13F)

1:1接続の場合



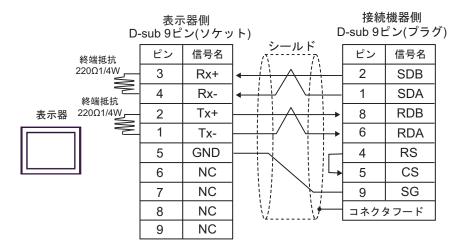
1:n接続の場合



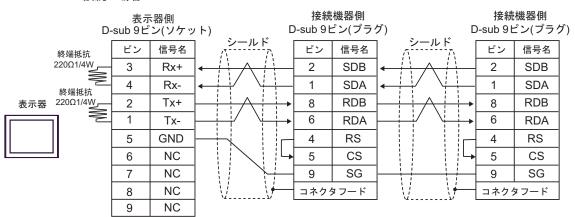
MEMO

13G)

1:1接続の場合



1:n接続の場合



**MEMO** 

# 結線図 14

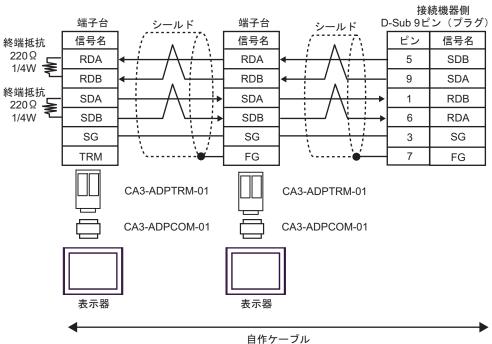
表示器(接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	14A	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP-Rear Module (COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	14B	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内
	14C	自作ケーブル	
GP3000 *4 (COM2)	14D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
	14E	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内
	14F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	14G	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2)	14H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 + 自作ケーブル	
	14I	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1*10 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	14C	自作ケーブル	

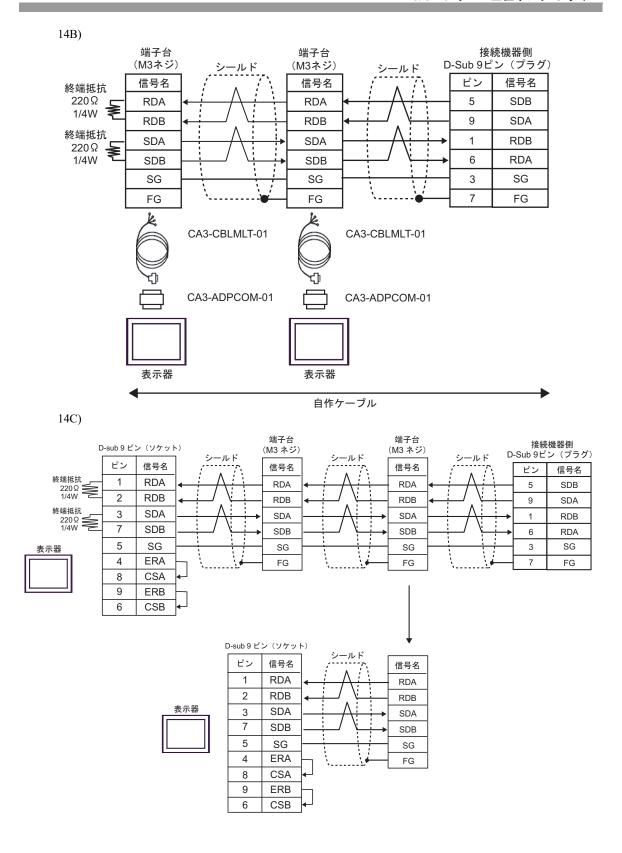
表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B*11 PS5000*11 PS6000 (オプションイ ンターフェイス)*11	14J	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- SP-5B00 を除く \*6
- \*7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して \*8 ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、14Aの結線図を参照してください。
- \*10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、14Bの 結線図を参照してください。
- \*11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

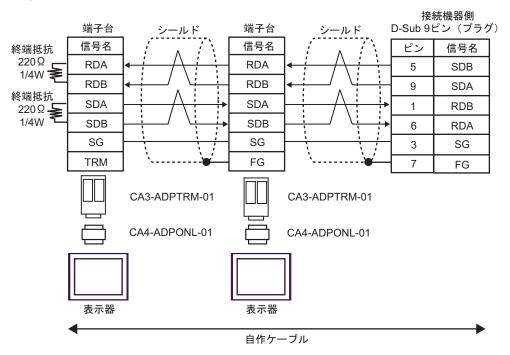
⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13ページ)

14A)

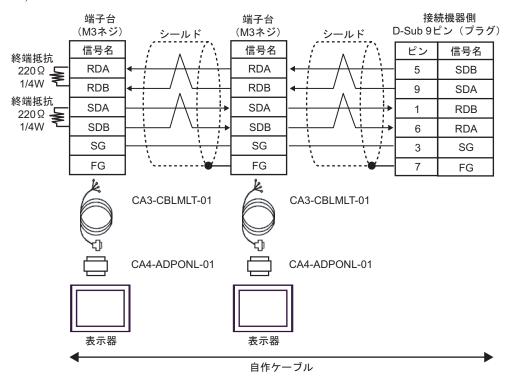




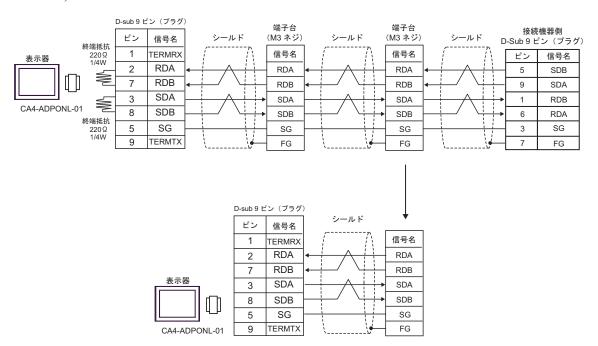
14D)



14E)



14F)



14G) 表示器側 表示器側 接続機器側 端子台 端子台 D-Sub 9ピン (プラグ) シールド シールド 信号名 信号名 ピン 信号名 終端抵抗\*1 **RDA RDA** 5 SDB **RDB RDB** 9 SDA 終端抵抗\*1 SDA SDA 1 **RDB SDB** SDB 6 **RDA** SG SG 3 SG **ERA ERA** 7 FG **CSA** CSA **ERB ERB CSB** CSB

\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

表示器

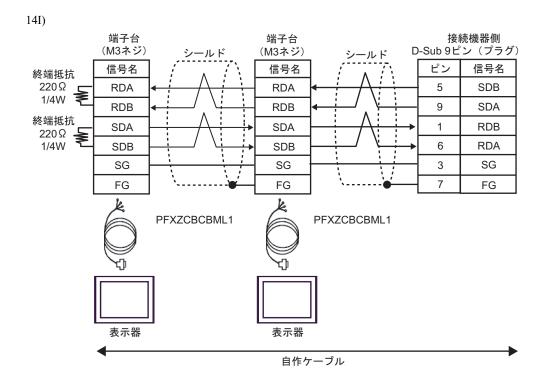
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

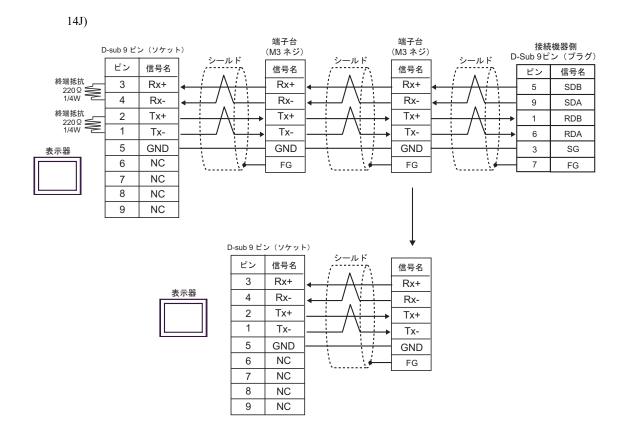
表示器

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ 1 から 4 をすべて OFF してください。

14H) 接続機器側 端子台 端子台 D-Sub 9ピン(プラグ) シールド 信号名 信号名 信号名 終端抵抗  $220\,\Omega$ **RDA** 5 SDB **RDA** 1/4W 📚 RDB **RDB** 9 SDA 終端抵抗 220Ω € SDA SDA 1 **RDB** 1/4W SDB SDB 6 RDA SG SG SG 3 TRM FG 7 FG PFXZCBADTM1 PFXZCBADTM1 表示器 表示器

自作ケーブル





## 結線図 15

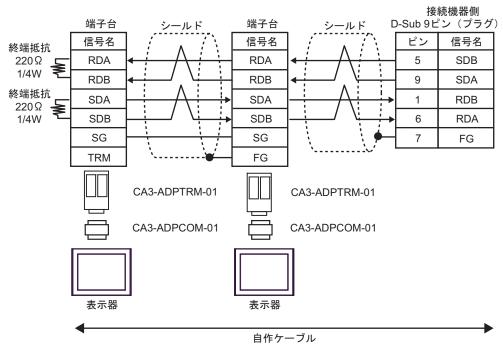
表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	15A	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP-Rear Module (COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	15B	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内
	15C	自作ケーブル	
	15D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP3000 *4 (COM2)	15E	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +</li> <li>(株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内
	15F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	15G	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	15H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ** + 自作ケーブル	
ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2)	151	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 <sup>*10</sup> + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	15C	自作ケーブル	

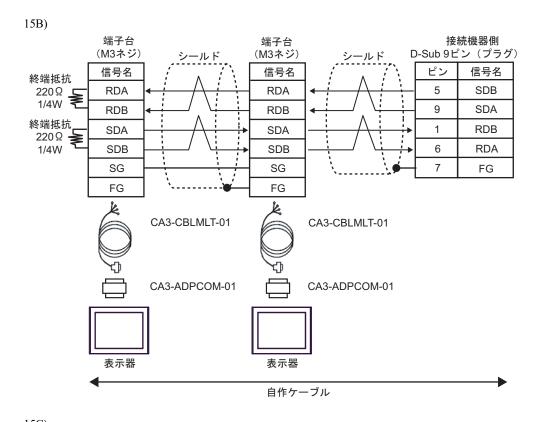
表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B*11 PS5000*11 PS6000 (オプションインターフェイス)*11	15J	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内

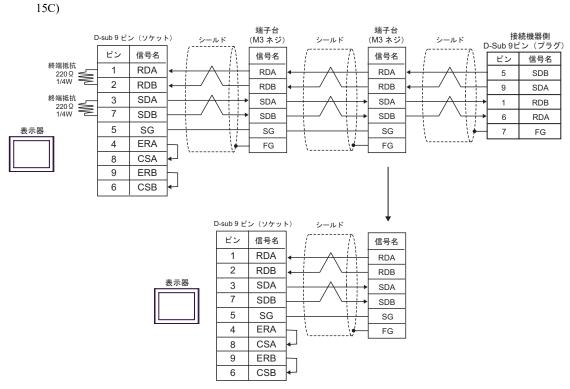
- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)
  - 『 IPC の COM ポートについて (13 ページ)
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く
- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略してください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、15A の結線図を参照してください。
- \*10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、15Bの 結線図を参照してください。
- \*11 RS-422/485(4線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。

『 ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

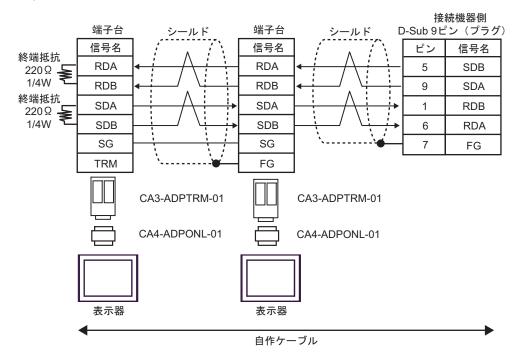
15A)



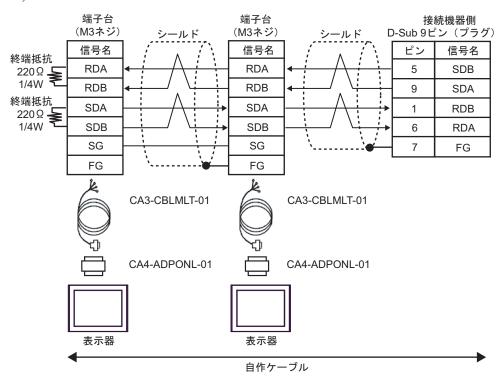




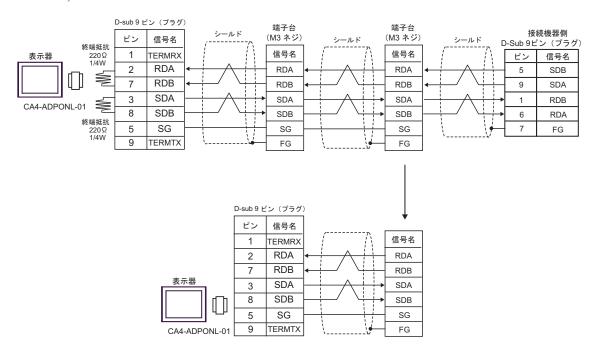
15D)



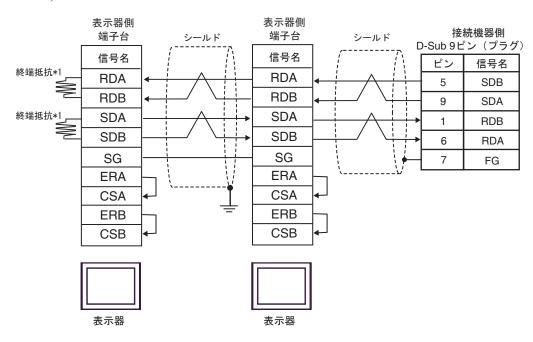
15E)



15F)



15G)

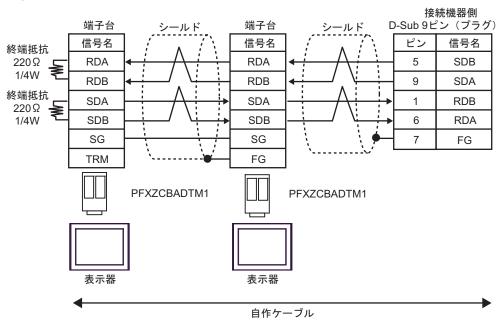


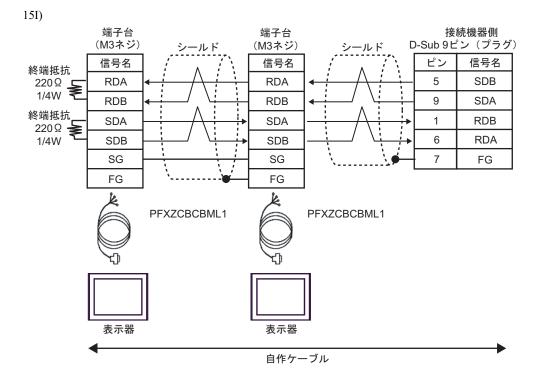
\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

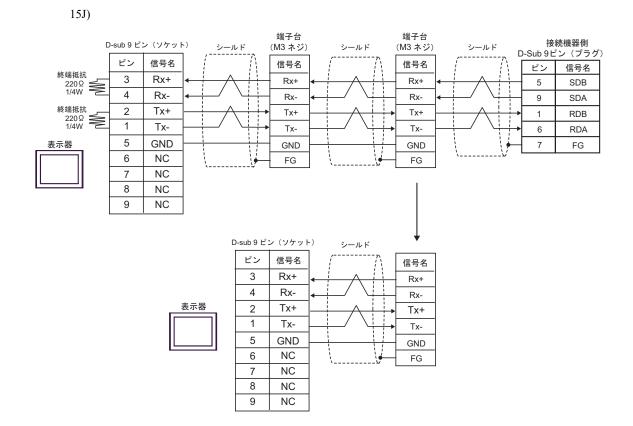
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ 1 から 4 をすべて OFF してください。

15H)







## 結線図 16

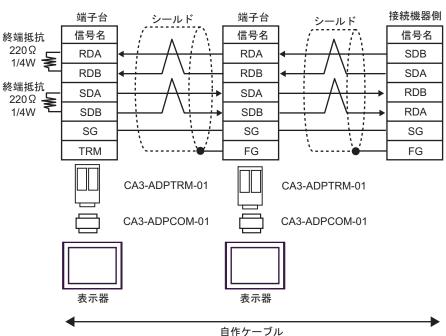
表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
(13490/17 14)	16A	<ul><li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li><li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ</li></ul>	
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module		CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
(COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	16B	<ul><li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li><li>(株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01</li></ul>	ケーブル長:500m以内
	16C	+ 自作ケーブル 自作ケーブル	
	16D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ         CA4-ADPONL-01         +         (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ         CA3-ADPTRM-01         +</li> </ul>	
GP3000 *4 (COM2)	16E	自作ケーブル  (株) デジタル製 オンラインアダプタ	ケーブル長:500m以内
	16F	+ 自作ケーブル (株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	16G	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	16H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1*9 + 自作ケーブル	
ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2)	16I	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 <sup>*10</sup> + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス)(COM1/2)	16C	自作ケーブル	

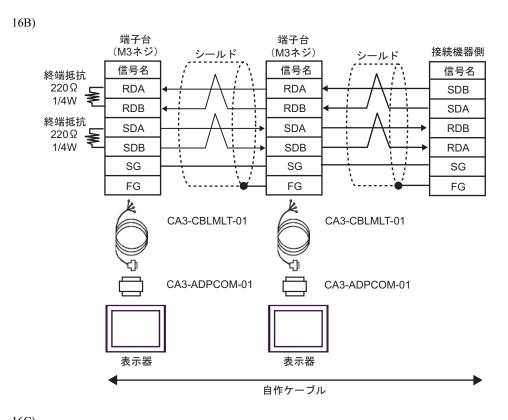
表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B*11 PS5000*11 PS6000 (オプションイ ンターフェイス)*11	16J	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内

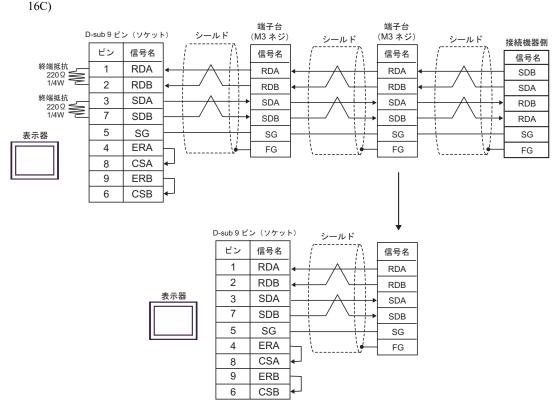
- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く) □ IPC の COM ポートについて (13 ページ)
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- SP-5B00 を除く \*6
- \*7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して \*8 ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、16Aの結線図を参照してください。
- \*10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、16Bの 結線図を参照してください。
- \*11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

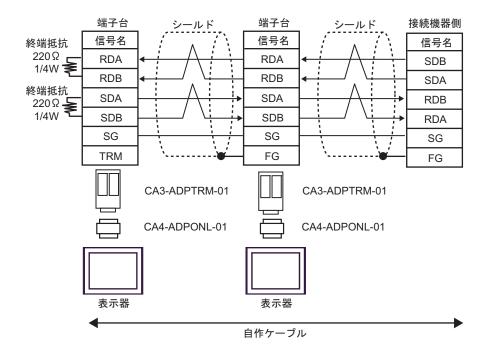
16A)



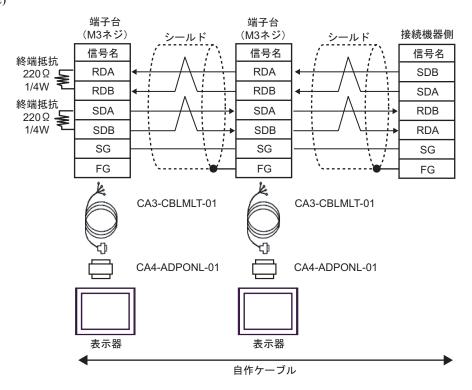




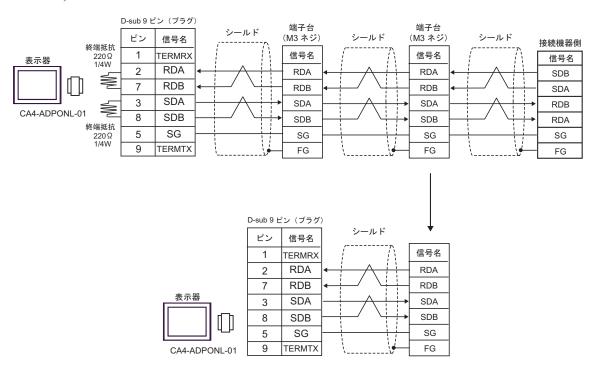
16D)



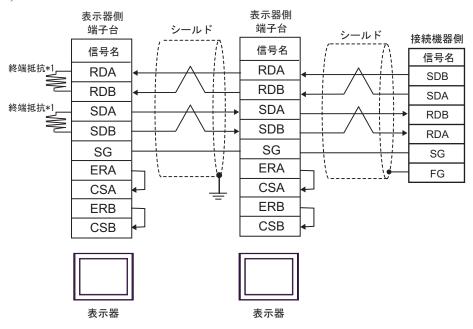
16E)



16F)



16G)

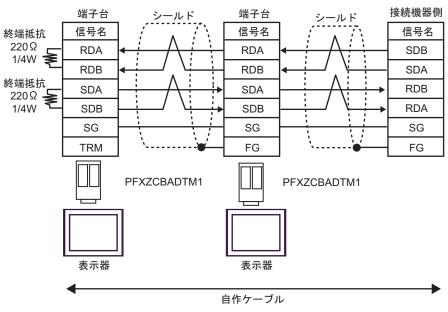


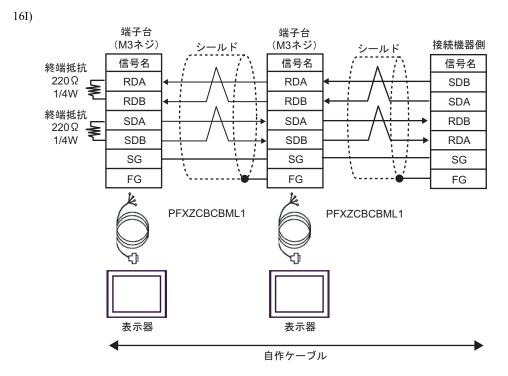
\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

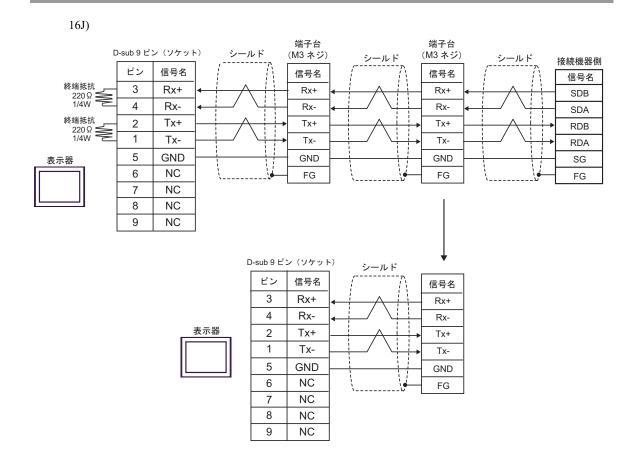
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ 1 から 4 をすべて OFF してください。

16H)







## 結線図 17

表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	17A	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP-Rear Module (COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	17B	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長: 500m 以内
	17C	自作ケーブル	
	17D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP3000 *4 (COM2)	17E	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
	17F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	17G	自作ケーブル	ケーブル長:500m以内
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	17H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 ** + 自作ケーブル	
ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2)	17I	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 <sup>*10</sup> + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	17C	自作ケーブル	

表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B*11 PS5000*11 PS6000 (オプションイ ンターフェイス)*11	17J	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

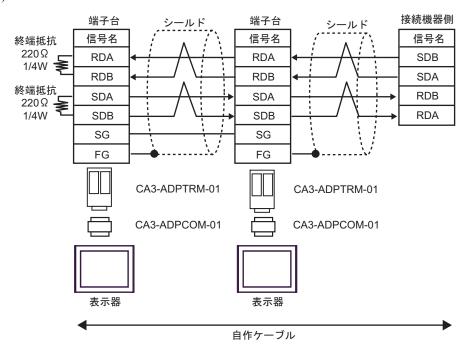
- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く) □ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- SP-5B00 を除く \*6
- \*7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、17Aの結線図を参照してください。
- \*10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、17Bの 結線図を参照してください。
- \*11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
  - ⑤ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

MEMO

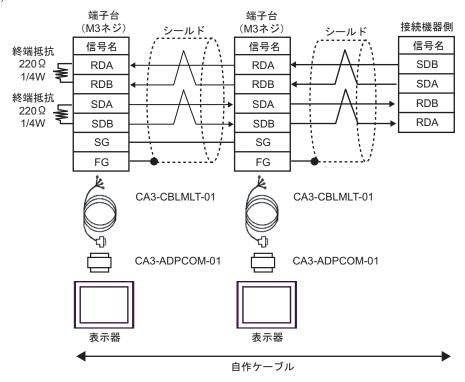
• 接続機器を接続する場合はオムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 または端 子台を使用してください。

17A)



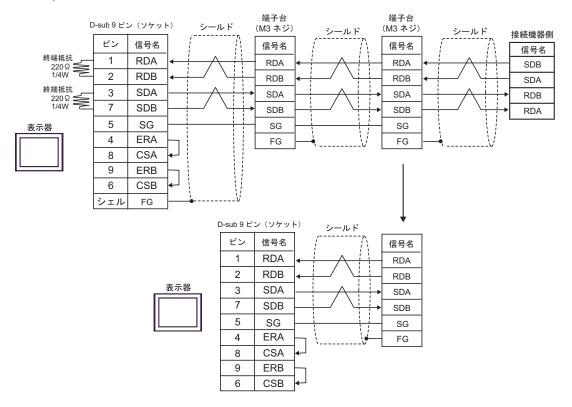
МЕМО

17B)



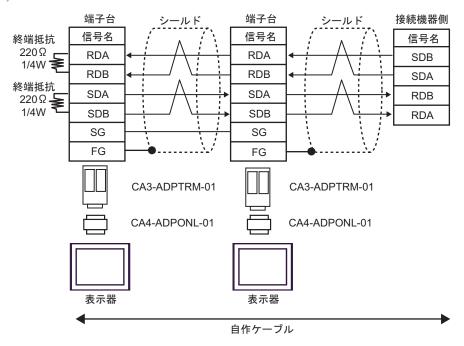
MEMO

17C)



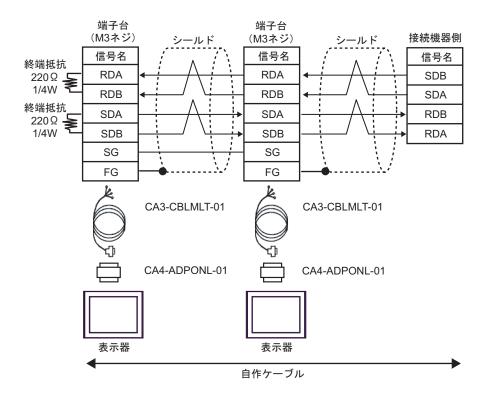
МЕМО

17D)



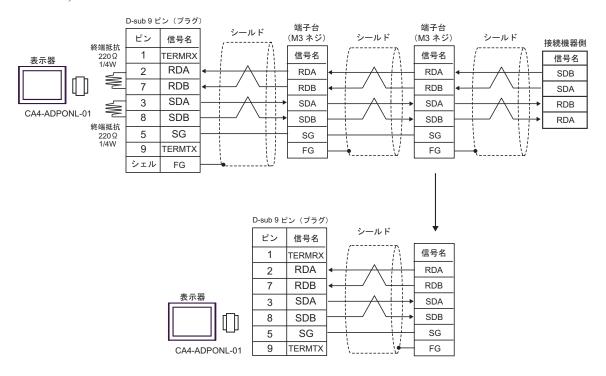
MEMO

17E)



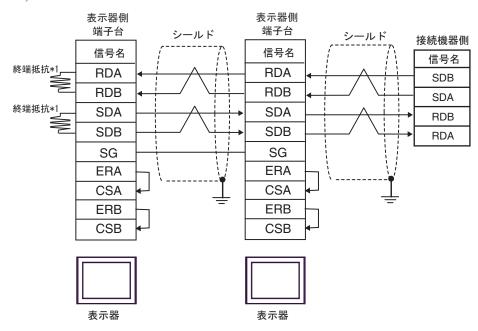
МЕМО

17F)



MEMO

17G)



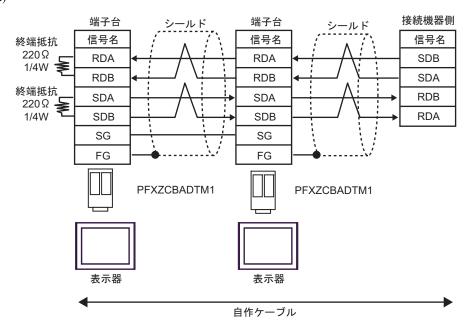
MEMO

- 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。
- \*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

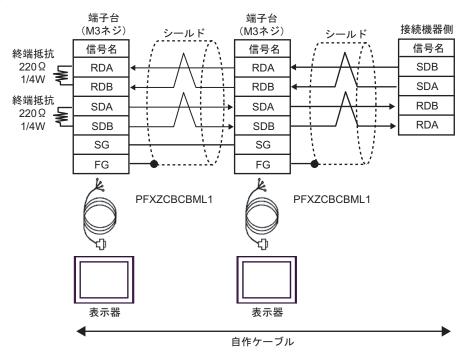
n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ 1 から 4 をすべて OFF してください。

17H)

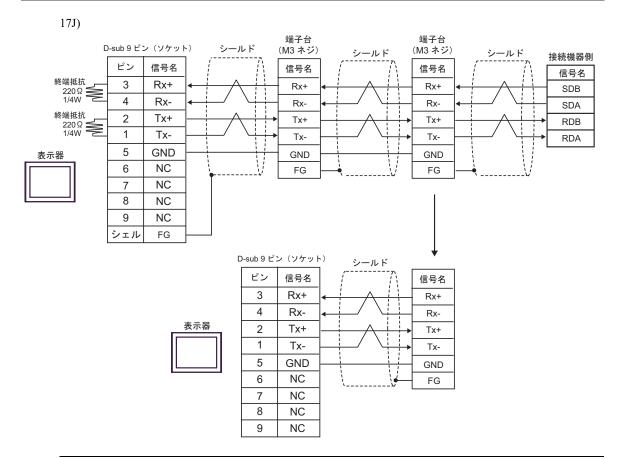


MEMO

17I)



MEMO



МЕМО

## 結線図 18

表示器			
(接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	18A	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP-Rear Module (COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	18B	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内
	18C	自作ケーブル	
	18D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP3000 *4 (COM2)	18E	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
	18F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	18G	自作ケーブル	ケーブル長:500m以内
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	18H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1 *9 + 自作ケーブル	
ST6000*7 (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000*8 (COM2)	18I	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1 <sup>*10</sup> + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 ( ベーシック ボックス ) (COM1/2)	18C	自作ケーブル	

表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B <sup>*11</sup> PS5000 <sup>*11</sup> PS6000 (オプションインターフェイス) <sup>*11</sup>	18J	自作ケーブル	ケーブル長: 500m 以内

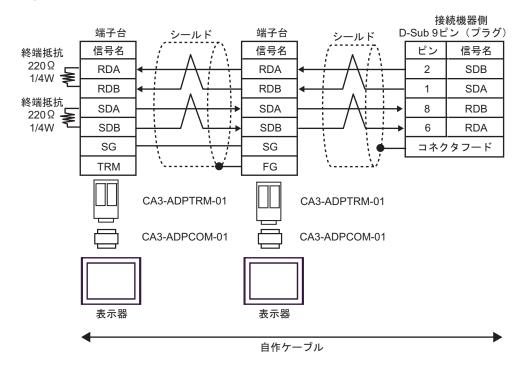
- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)

『 ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- \*6 SP-5B00 を除く
- \*7 ST-6200 を除く
- \*8 COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略してください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する場合、18A の結線図を参照してください。
- \*10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、18Bの 結線図を参照してください。
- \*11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
  - 『 IPC の COM ポートについて (13 ページ)

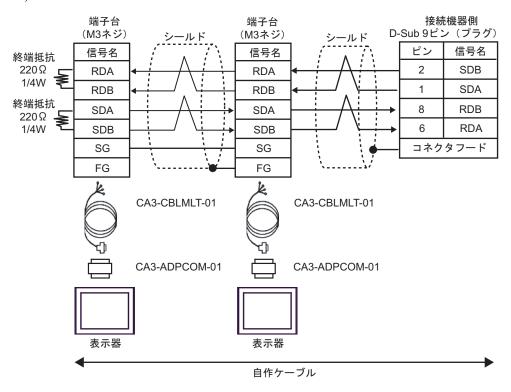
**MEMO** 

• 接続機器を接続する場合はオムロン(株)製のリンクアダプタ B500-AL001 または端 子台を使用してください。 18A)



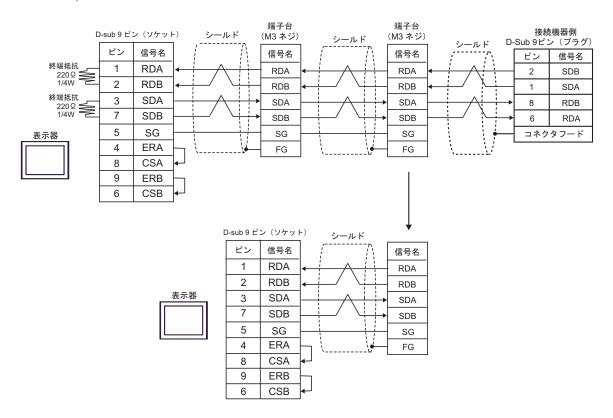
MEMO

18B)



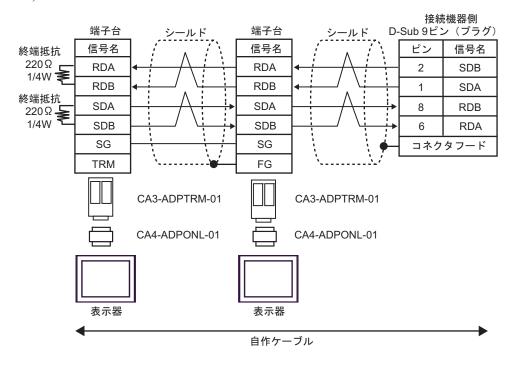
МЕМО

18C)



**MEMO** 

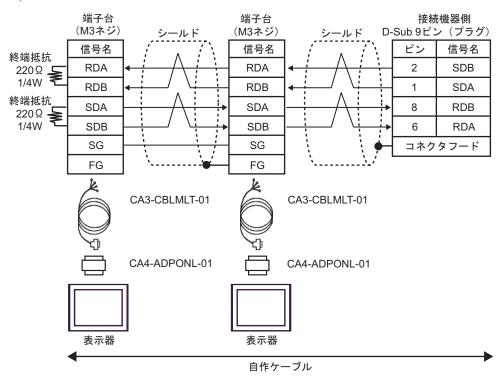
18D)



MEMO

・ 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

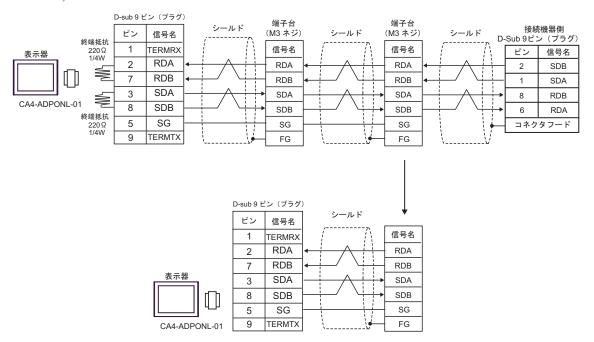
18E)



МЕМО

• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

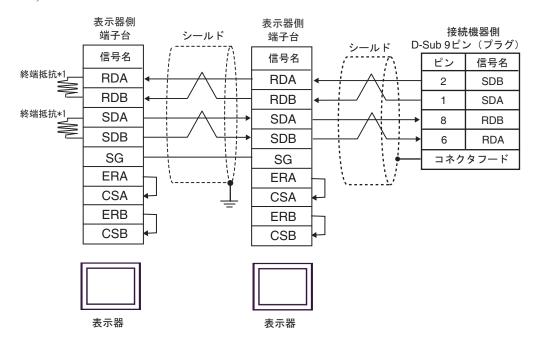
18F)



МЕМО

• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

18G)



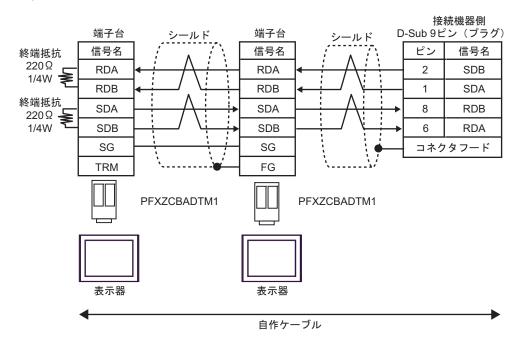
MEMO

- 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。
- \*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

ディップスイッチ	チ 設定内容	
1	OFF	
2	ON	
3	OFF	
4	ON	

n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ 1 から 4 をすべて OFF してください。

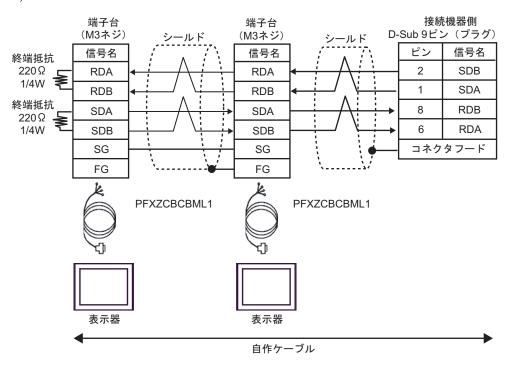
18H)



MEMO

・ 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

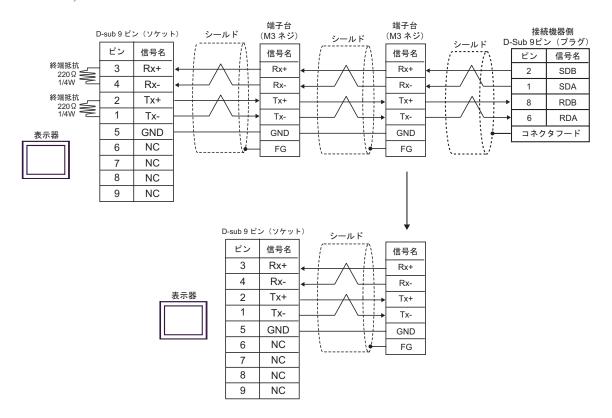
18I)



МЕМО

• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

18J)



МЕМО

• 終端となる接続機器の終端抵抗スイッチを ON にしてください。

## 結線図 19

表示器		/_ <del></del> *	/## <del>-1</del> /
(接続ポート)		ケーブル	備考
GP3000 <sup>*1</sup> (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1)	19A	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	
GP-Rear Module (COM1) ST3000*2 (COM2) LT3000 (COM1) IPC*3	19B	<ul> <li>(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 +</li> <li>(株) デジタル製 マルチリンクケーブル CA3-CBLMLT-01 +</li> <li>自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長:500m 以内
	19C	自作ケーブル	
GP3000 *4 (COM2)	19D	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ         CA4-ADPONL-01         +         (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ         CA3-ADPTRM-01         +         自作ケーブル</li> </ul>	
	19E	<ul> <li>(株) デジタル製 オンラインアダプタ         CA4-ADPONL-01         +         (株) デジタル製 マルチリンクケーブル         CA3-CBLMLT-01         +         自作ケーブル</li> </ul>	ケーブル長: 500m 以内
	19F	(株)デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	19G	自作ケーブル	ケーブル長:500m以内
GP4000*5 (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000*6 (COM1/2) SP-5B00 (COM2)	19H	(株)デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTMI *9 + 自作ケーブル	
ST6000 <sup>*7</sup> (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) ET6000 <sup>*8</sup> (COM2)	191	(株)デジタル製 マルチリンクケーブル PFXZCBCBML1*10 + 自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内
PS6000 (ベーシック ボックス)(COM1/2)	19C	自作ケーブル	

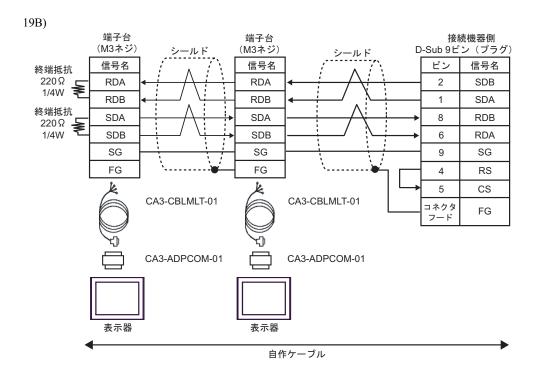
表示器(接続ポート)		ケーブル	備考
PE-4000B <sup>*11</sup> PS5000 <sup>*11</sup> PS6000 (オプションインターフェイス) <sup>*11</sup>	19Ј	自作ケーブル	ケーブル長:500m 以内

- \*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- \*3 RS-422/485(4 線式)で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く) □ IPC の COM ポートについて (13 ページ)
- \*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- \*5 GP-4100 シリーズ、GP-4\*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4\*03T を除く全 GP4000 機種
- SP-5B00 を除く \*6
- \*7 ST-6200 を除く
- COM ポートの仕様上、フロー制御ができないため、結線図の表示器側の制御ピンの配線は省略して \*8 ください。
- \*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する 場合、19A の結線図を参照してください。
- \*10 マルチリンクケーブルの代わりにマルチリンクケーブル (CA3-CBLMLT-01) を使用する場合、19B の 結線図を参照してください。
- \*11 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。

⑤ ■ IPC の COM ポートについて (13 ページ)

19A) 接続機器側 端子台 端子台 D-Sub 9ピン (プラグ) シールド -ルド ピン 信号名 信号名 信号名 終端抵抗  $220\Omega$ **RDA** RDA 2 SDB 1/4W 🚖 **RDB** RDB 1 SDA 終端抵抗 SDA SDA **RDB** 8 220Ω € 1/4W SDB 6 **RDA** SDB SG SG SG 9 TRM FG 4 RS 5 CS CA3-ADPTRM-01 CA3-ADPTRM-01 コネクタ FG CA3-ADPCOM-01 CA3-ADPCOM-01 表示器 表示器 自作ケーブル

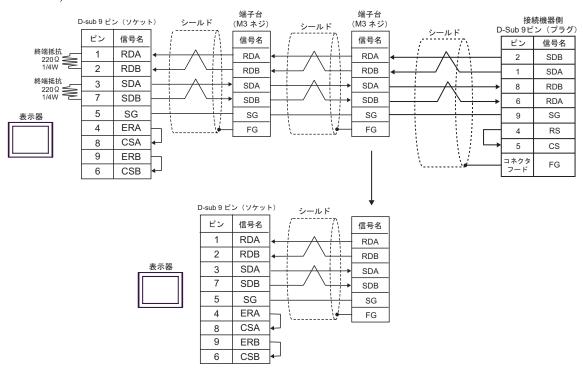
**MEMO** 



**MEMO** 

• 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。

19C)



**MEMO** 

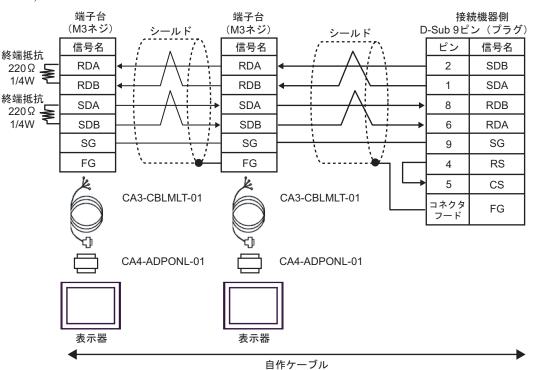
19D) 接続機器側 端子台 端子台 D-Sub 9ピン (プラグ) シールド シールド 信号名 信号名 信号名 ピン 終端抵抗 220Ω [ **RDA RDA** 2 SDB 1/4W 🔰 **RDB** RDB SDA 1 終端抵抗 SDA SDA 8 **RDB** <sup>220</sup>Ω € SDB SDB 6 **RDA** SG SG 9 SG TRM FG RS 4 5 CS CA3-ADPTRM-01 CA3-ADPTRM-01 コネクタ FG フード CA4-ADPONL-01 CA4-ADPONL-01 表示器 表示器

MEMO

• 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。

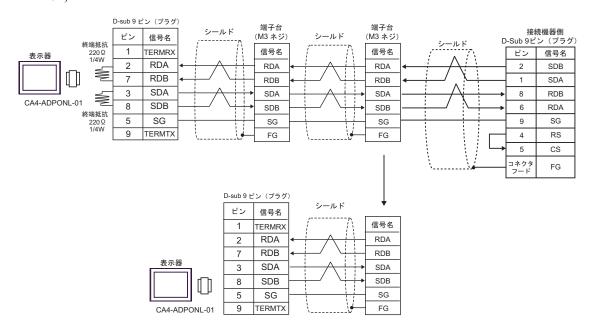
自作ケーブル

19E)



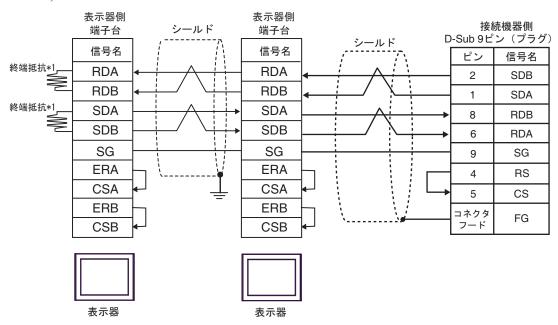
MEMO

19F)



**MEMO** 

19G)



\*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	ON
3	OFF
4	ON

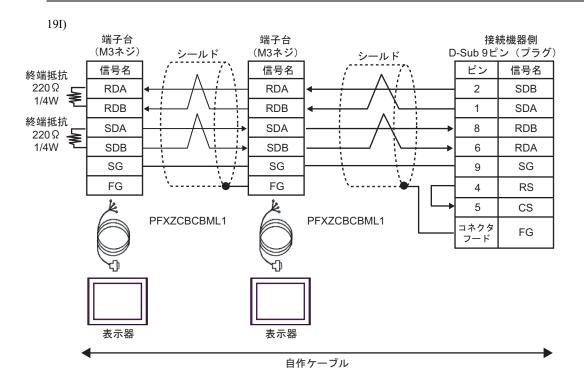
n:1 接続の場合、終端となる表示器以外は表示器背面のディップスイッチ 1 から 4 をすべて OFF してください。

MEMO

19H) 接続機器側 端子台 端子台 D-Sub 9ピン (プラグ) シールド シールド 信号名 信号名 ピン 信号名 終端抵抗  $220\Omega$ 2 SDB **RDA RDA** 1/4W 📚 **RDB** 1 SDA **RDB** 終端抵抗 220Ω € **RDB** SDA SDA 8 1/4W SDB SDB 6 **RDA** SG SG SG 9 TRM FG 4 RS 5 CS PFXZCBADTM1 PFXZCBADTM1 コネクタ FG フード 表示器 表示器 自作ケーブル

МЕМО

• 接続機器側のポートに SG 端子が無い場合、SG の接続は不要です。



**MEMO** 

19J) 端子台 端子台 D-sub 9 ピン(ソケット) シールド 接続機器側 (M3 ネジ) (M3 ネジ) シールド シールド D-Sub 9ピン(プラグ) ピン 信号名 信号名 信号名 ピン 信号名 終端抵抗 3 Rx+ Rx+ Rx+ 2 SDB 220Ω 1/4W 4 Rx-Rx-Rx-SDA 1 終端抵抗 220Ω 1/4W 2 Tx+ Tx+ Tx+ 8 RDB 1 Tx-Tx-Tx-6 RDA 5 GND 表示器 GND GND 9 SG 6 NC FG FG 4 RS 7 NC 5 CS 8 NC コネクタフード FG 9 NC D-sub 9 ピン(ソケット) シールド ピン 信号名 信号名 3 Rx+ Rx+ 4 Rx-Rx-2 Tx+ Tx+ Tx-Tx-5 GND GND NC 6 FG 7 NC 8 NC 9 NC

MEMO

# 6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

### 6.1 SYSMAC-C シリーズ

・システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー				
内部補助リレー	000.00 - 511.15	000-511		*1 *3
特殊補助リレー				
アナログ設定値格納エリア	220.00 - 223.15	$220 \sim 223$	[L/H]	*2 *3
データリンクリレー	LR00.00 — LR63.15	LR00-LR63		*3
補助記憶リレー	AR00.00 — AR27.15	AR00-AR27		*3
保持リレー	HR00.00 — HR99.15	HR00-HR99		*3
タイマ (接点)	TIM000-TIM511	ı		
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	_		
タイマ (現在値)	_	TIM000-TIM511		*4
カウンタ (現在値)		CNT000-CNT511		*4
データメモリ	_	DM0000-DM6655		в 15)

- \*1 各デバイスの使用範囲および書き込みの可否については CPU によって異なる場合がありますので、 各 CPU のマニュアルで確認してください。
- \*2 CQM1-CPU42 のみで使用できます。
- \*3 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスへラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- \*4 BCD のみ

MEMO

• システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式 専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

<sup>ぽ</sup>「表記のルール」

## 6.2 SYSMAC-C シリーズ (CQM1H-CPU51/CQM1H-CPU61)

:システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー	000.00 - 243.15	000-243		*1 ?3
内部補助リレー	000.00 - 243.13	000-243		
特殊補助リレー	244.00-255.07	244-255		*2 ?3
リンクリレー	LR00.00-LR63.15	LR00-LR63		*3
補助記憶リレー	AR00.00-AR27.15	AR00-AR27	[L/H]	*3
保持リレー	HR00.00-HR99.15	HR00-HR99		*3
タイマ (接点)	TIM000-TIM511	_		
カウンタ(接点)	CNT000-CNT511	_		
タイマ (現在値)	_	TIM000-TIM511		*4
カウンタ (現在値)	_	CNT000-CNT511		*4
データメモリ	_	DM0000-DM6655		<sub>в т</sub> 15)*5
拡張データメモリ	_	EM0000-EM6143		<u>₿;;15</u> ]*6

- \*1 入力リレー/内部補助リレーのアドレス範囲の中で、アドレスが存在していない部分があります。 総裁はオムロン(株)製 SYSMAC-CQMIH ユーザーズマニュアルを参照してください。
- \*2 特殊補助リレーのビットアドレスは 244.00 254.15 / 255.00 07 となります。 255.08 255.15 の ビットアドレスは存在しません。
- \*3 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込んで返す間に、そのワードアドレスへラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが書き込めない場合があります。
- \*4 BCD のみ
- \*5 データメモリ DM の以上格納エリア DM6569-DM6599、PC システム設定エリア DM6600-DM6655 に は書き込みしないでください。
- \*6 拡張データメモリ EM は CQM1H-CPU61 のみサポートしています。

MEMO

• システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

<sup>②</sup>「表記のルール」

### 6.3 SYSMAC-α シリーズ

: システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー I	000.00 - 029.15	000-029		*1
入出カリレーⅡ	300.00-309.15	300-309		*1
内部補助リレーI	030.00-235.15	030-235		*1
内部補助リレーⅡ	310.00-511.15	310-511		*1
特殊補助リレー I	236.00-255.07	236-255		*1
特殊補助リレーⅡ	256.00-299.15	256-299		*1
リンクリレー	LR00.00-LR63.15	LR00-LR63	(L/H)	*1
補助記憶リレー	AR00.00-AR27.15	AR00-AR27		*1
保持リレー	HR00.00-HR99.15	HR00-HR99		*1
タイマ (接点)	TIM000-TIM511	_		
カウンタ (接点)	CNT000-CNT511	_		
タイマ (現在値)	_	TIM000-TIM511		*2
カウンタ(現在値)	_	CNT000-CNT511		*2
データメモリ	_	DM0000-DM6655		<sub>в т</sub> 15)*3
拡張固定データメモリ	_	DM7000-DM9999		<sub>Β + τ</sub> 15)*4
拡張データメモリ	_	EM0000-EM6143		<sub>в т</sub> 15)*5

- \*1 ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- \*2 BCD のみ
- 存在しないデータメモリエリア (DM6656 ~ DM6999) にアクセスを行った場合の動作は保証でき \*3 ません。
- 拡張固定 DM の設定を行わずに DM7000 ~ DM9999 にアクセスを行った場合の動作は保証できませ \*4
- 拡張メモリエリアのバンクが存在しない機種での範囲内指定時の動作は保証できません。 \*5

MEMO

• システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式専 用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

### 6.4 SYSMAC-CV シリーズ

: システムデバイスの先頭アドレスに設定可能

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入出カリレー	000.00 100.15	000-199		*1
内部補助リレー	000.00 - 199.15	000-199		*1
SYSMAC BUS/2 リモートIO リレー	0200.00-0999.15	0200-0999		*1
データリンクリレー	1000.00 - 1199.15	1000-1199		*1
特殊補助リレー	A000.00 — A511.15	A000-A511	[L/H]	*1
保持リレー	1200.00 - 1499.15	1200-1499		*1
内部補助リレー	1900.00 - 2299.15	1900-2299		*1
SYSBUS リモートIO リレー	2300.00 — 2555.15	2300-2555		*1
タイマ (接点)	T0000-T1023	_		*2
カウンタ(接点)	C0000-C1023	_		*2
タイマ (現在値)	_	T0000-T1023		*3
カウンタ(現在値)	_	C0000-C1023		*3
データメモリ	_	D0000-D9999		<sub>в т</sub> 15)

- ビット書き込みを行うと、いったん表示器が接続機器の該当するワードアドレスを読み込み、読み 込んだワードアドレスにビットを立てて接続機器に戻します。表示器が接続機器のデータを読み込 んで返す間に、そのワードアドレスヘラダープログラムで書き込み処理を行うと、正しいデータが 書き込めない場合があります。
- 書き込み不可 \*2
- BCD のみ \*3

MEMO

• システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア(ダイレクトアクセス方式 専用エリア)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

⑤ 表記のルール」

# 7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、データ表示器などのアドレスタイプで「デバイス&アドレス」 を設定している場合に使用します。

## 7.1 SYSMAC-C シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー			
内部補助リレー	_	0080	ワードアドレス
特殊補助リレー			
アナログ設定値格納エリア	LR	0088	ワードアドレス
データリンクリレー	_	0080	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ (現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス

# 7.2 SYSMAC-C シリーズ(CQM1H-CPU51 / CQM1H-CPU61)

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー			
内部補助リレー	_	0080	ワードアドレス
特殊補助リレー			
リンクリレー	LR	0088	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ (現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ (現在値)	CNT	0061	ワードアドレス

次のページに続きます。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ	EM	0001	ワードアドレス

# 7.3 SYSMAC-α シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー I			
入出カリレーII			
内部補助リレー I		0080	ワードアドレス
内部補助リレーⅡ	_	0080	
特殊補助リレー I			
特殊補助リレーⅡ			
リンクリレー	LR	0088	ワードアドレス
補助記憶リレー	AR	0085	ワードアドレス
保持リレー	HR	0084	ワードアドレス
タイマ(接点)	TIM	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	CNT	00E2	ワードアドレス
タイマ (現在値)	TIM	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	CNT	0061	ワードアドレス
データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張固定データメモリ	DM	0000	ワードアドレス
拡張データメモリ	EM	0001	ワードアドレス

# 7.4 SYSMAC-CV シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
入出カリレー			
内部補助リレー			
SYSMAC BUS/2 リモート IO リレー	_	0080	ワードアドレス
データリンクリレー			
特殊補助リレー	A	0085	ワードアドレス
保持リレー	_	0080	ワードアドレス
内部補助リレー	_	0080	ワードアドレス
SYSBUS リモート IO リレー	_	0080	ワードアドレス
タイマ(接点)	T	00E0	ワードアドレス
カウンタ(接点)	С	00E2	ワードアドレス
タイマ(現在値)	T	0060	ワードアドレス
カウンタ(現在値)	С	0061	ワードアドレス
データメモリ	D	0000	ワードアドレス

# 8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ (エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容	
番号	エラー番号	
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC])	
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。	
エラ一発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。  MEMO  • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数 ):MAC アドレス (16 進数 )」のように表されます。  • デバイスアドレスは「アドレス: デバイスアドレス」のように表示されます。  • 受信エラーコードは「10 進数 [16 進数 ]」のように表示されます。	

エラーメッセージの表示例

「RHAA035: PLC1: 書き込み要求でエラーを受信しました(受信エラーコード: 2[02H])」

МЕМО

- 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
- ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「表示器で表示されるエラー」を参照してください。